

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【250】
2. 日時：令和4年8月5日 13時30分～16時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

齋藤安全規制調整官、忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、
義崎管理官補佐※、植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、
千明主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
皆川主任安全審査官、藤川安全審査官※、伊藤原子力規制専門員、
谷口技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官、石田技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他7名

電源事業本部 部長（電源建築） 他19名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力土建部 設計管理グループ 担当 他3名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 安全総括室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	規制庁のハツリです。
0:00:07	ただいまから、島根 2 号機設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:12	本日の議題は、審査会合案件の説明となります。
0:00:17	大きく分けて全体上、状況の説明と、
0:00:21	土建関係の説明となりますがよろしいでしょうかどうぞ。
0:00:26	中国電力の内藤です。はい。その認識で、大きく分けて全体の土建関係の二つだと認識しております。以上です。規制庁の服部ですはい。
0:00:37	それで大きな進め方ですけども、まず全体の説明についてしていただいて、確認を事実確認をすると、そのあと振り返りをしていただいて、
0:00:49	一旦休憩に入ります。是非とも必要に応じて人の入れ替えを行ってから、そのあと土建関係に入りたいと思っておりますがよろしいでしょうかどうぞ。
0:01:01	中国電力の内藤です。はい。その進め方で、こちらとしたものでございませぬ。よろしく願いいたします。
0:01:08	規制庁の服部です。はいわかりました。それでは本日の説明の進め方について中国電力側から説明をお願いしますどうぞ。
0:01:18	中国電力の内藤です。
0:01:20	本日の進め方ですが、まず全体に関わる補正の対応状況説明工程詳細スケジュールについて、
0:01:29	ご説明させていただき質疑、そのあと振り返りまで実施させていただければと思っております。そのうち、
0:01:36	主な説明事項の土建関係、
0:01:39	もう説明。
0:01:41	を行わせていただいて、こちら 4 件ございまして、
0:01:45	まず入力地震動の評価からご説明させていただいて質疑、
0:01:50	そのあと漂流物衝突荷重、
0:01:53	について説明質疑、設計、地下水について説明質疑、
0:01:58	防波壁逆T擁壁の解析を物性値について説明。
0:02:02	そのあと質疑ということで考えておりますがよろしいでしょうか。
0:02:07	規制庁の服部です。はい、了解いたしました。それではまず資料の確認をお願いします。あと付番の方もお願いしますどうぞ。
0:02:17	中国電力の内藤です。それでは資料の確認と付番を行わせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	資料。
0:02:24	①としましてN-Sに他 005 回、07。
0:02:31	02 としまして、N-Sに他 098 回 03。
0:02:39	③としまして、N-Sに他 056 回 07。
0:02:47	④としましてN-S2 他 073 回 03。
0:02:54	05 としましてN-S2 他 01404。
0:03:01	⑥としましてN-Sに他 003 回 09、
0:03:08	⑦としましてN-S2 他 067 回 06、
0:03:14	⑧としまして、N-Sに他 07106、
0:03:20	の合計八つの資料で、すべて 8 月 2 日に提出済みのものとなります。 資料はおそろいでしょうか。
0:03:30	規制庁の服部です。はい。資料の確認ができましたので、説明の方を 始めてくださいどうぞ。
0:03:38	中国電力の内藤です。
0:03:40	はい。それでは全体に関わるどころ、①④⑤⑥の説明をいたします。
0:03:47	①を、の資料をお願いいたします。
0:03:54	主な説明事項に関する回答整理表になりますが、
0:03:59	2 ページをお願いいたします。
0:04:03	ナンバー6 のコメントになりますが漂流物衝突荷重の関係になります。
0:04:09	回答のところ①と②とありますが、①の内容につきましては、後程
0:04:17	⑦の資料で、記載、回答も記載しておりますので、後程ご説明させてい ただきたいと考えておりますので、ここでは説明省略いたします。
0:04:27	②としているところ、これ後日回答としておりますが、内容としては漂流 物対策工の設計については、浸水防護施設の強度計算の説明時に説 明いたします。
0:04:41	ことで、後日回答とさせていただきます。
0:04:47	続きまして、3 ページ。
0:04:53	12 番がありますがこの創立回答でブローアウトパネル閉止装置、
0:05:01	課題を含む全体の振動特性については、実験を、こういう収益モデル解 析結果を耐震計算書にて説明いたします。
0:05:12	あと残っているものとしては、はい。
0:05:16	7 ページをお願いいたします。
0:05:24	49 番になりますが、漂流物の衝突荷重の設定について、速やかにヒア リングを設定して説明することという、
0:05:33	コメントスケジュール関係でいただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:39	回答としましては漂流物衝突荷重の算定方法として衝突荷重をする、選定していること。
0:05:46	既往の文献を踏まえた衝突荷重の妥当性及び衝突解析による衝突荷重算定結果についてヒアリング設定して説明させていただいております。
0:06:04	8 ページをお願いいたします。50 番の回答になりますが、
0:06:10	こちらも後日回答とさせており、いただいております、屋外重要土木構造物に関わるヒアリングにて、土木構造物設計条件等について説明いたします。
0:06:22	①の説明は以上となります。
0:06:27	続きまして、
0:06:31	④の資料。
0:06:34	ご説明させていただきたいと思います。
0:06:38	④-1 ページをお願いいたします。
0:06:45	こちら、
0:06:47	島根 2 号機の新規制基準への適合性確認に係る経緯等を示しておりますが、
0:06:54	申し訳ないのですが第 5 回補正、7 月に
0:06:59	8 日に実施させていただいたものについてちょっと記載が漏れておりますので次回、追記させていただきたいと思います。
0:07:10	2 ページをお願いいたします。
0:07:12	2 ページにつきましては前回から変更はございません。
0:07:19	母数、失礼いたしました母数の方が少し変更となっております強度計算については、
0:07:26	205 人図書となっております。
0:07:29	3 ページをお願いいたします。
0:07:37	3 ページ、一つ目の矢羽根のところですが、7 月 28 日に第 5 回補正を実施させていただいております。
0:07:45	表中で、
0:07:48	前回経営計画から実績ということで、補正した当初数の実績を示させていただいております。
0:07:57	また未提出の耐震強度計算書につきましては本年 9 月以降に分割して補正を実施予定でございます。
0:08:07	表中の主な変更点としましては、耐震計算書について前回からの変更点としましては、耐震計算書について、第 5 回法政分外。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:18	20 図書程度入りまして第 6 回補正分が増えている形となっております。
0:08:24	これら主に土木構造物になりますが、解析用物性値の見直しや、構造物周辺の液状化対象層の分布を、
0:08:34	踏まえて有効応力解析を実施することにした。
0:08:38	ことによるものになります。
0:08:45	4 ページ、④の説明は以上となります。
0:08:52	続きまして、⑤の資料をお願いいたします。
0:08:58	説明工程になりますが、
0:09:03	右上のところに赤字で一色で記載しておりますが、第 1054 回審査会合からの変更箇所式で、備考欄と、
0:09:12	について示しております。
0:09:14	左上のところに凡例示しておりますが、
0:09:20	グレーの、
0:09:22	点線が説明、そう当初想定で、青の点線が、前回の想定。
0:09:30	赤の実線が説明会の実績となりまして、赤の、
0:09:36	点線が現状想定の説明期間となります。
0:09:45	審査書、説明期間につきましては審査状況やコメント回答の想定期間、
0:09:51	を踏まえまして
0:09:54	教えさせていただいております。
0:09:56	個別に説明して参ります。A4 の、
0:10:00	津波への配慮。
0:10:02	施設共通の説明書の 4 の津波の配慮のところですが、
0:10:06	防波壁、
0:10:08	その主な説明事項の説明時期を、7 月だったものを 9 月に変更させていただいております、
0:10:18	説明期間につきましても、
0:10:21	コメント回答の想定期間を踏まえまして延長させていただいております。
0:10:29	10 番の設定根拠ですが、の別添のところになりますが、3-4 の主な説明事項の 3-4 の放射性物質吸着剤の瀬、
0:10:40	イシイ箇所の変更につきましては、
0:10:42	地下水位低下設備の審査の後にご説明する流れと考えておりまして、
0:10:49	それを踏まえまして 12 月に変更する説明時期を 12 月に変更させていただいております。
0:11:00	下の方いきまして、
0:11:02	耐震性に関する説明書のちょっと少し上のところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:07	説明項目が朱記で示しておりますが、25 番に斜面安定性に関する説明書を追加しております。
0:11:16	こちらにつきましては備考欄に記載しておりますが、
0:11:20	健全性の別添の、
0:11:22	12 番の健全性の別添の保管アクセス数において説明し、
0:11:28	指定させていただいているものとなります。
0:11:34	耐震ケース、耐震性に関する説明書の
0:11:39	中ですが、2、
0:11:40	その中の、2 ポツ目。
0:11:44	建物構築物の耐震計算書の、
0:11:48	ところに、備考欄で 4-6、新規追加としておりますが、原子炉建物基礎スラブの応力解析モデルの変更。
0:11:58	はい。
0:11:59	タイ新駅等をモデル化したものになりますが、こちらを主な説明事項として追加させていただいて、説明時期は、
0:12:09	10 月、
0:12:13	佐瀬。
0:12:19	失礼いたします 11 月とさせていただいております。
0:12:23	その下、取水槽の耐震計算書につきましては前回から、こちら、今後の主な説明事項として示しておると。
0:12:33	おりましたが、今回、4-5 として記載しております。
0:12:37	説明時期は 10 月となります。
0:12:42	その下の方 3 の、
0:12:44	シリーズですが、2 ポツ目の燃料プール冷却系の熱交換器、あと S/C 4 発目のサプレッション・チェンバにつきましては、
0:12:54	コメント回答期間を想定してその延長しております。
0:13:02	午後の
0:13:04	取水槽ガントリークレーンにつきましては、
0:13:08	説明可能時期を、
0:13:11	1 ヶ月程度後直しさせていただいております、説明期間も延長させていただいております。
0:13:20	⑤の説明は以上となります。
0:13:23	⑥の、
0:13:25	資料をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:31	⑥につきましては、左上のところに凡例示しておりますが、改定分は朱記で示しております。
0:13:41	⑦の⑥の資料につきましては、⑤の説明工程と、
0:13:48	整合を図っております⑤と同様に、
0:13:52	審査状況やコメント回答の想定期間を踏まえまして、説明期間、
0:13:58	見直させていただいております。
0:14:02	個別の説明については割愛させていただきます。
0:14:07	全体に係る説明は以上となります。
0:14:11	規制庁の服部です。はい。
0:14:13	それでは全体に係る説明、資料一番 4 番 5 番 6 番について、確認する点がある方お願いします。どうぞ。
0:14:31	記念耐震担当してるオオノです。4、
0:14:36	④の資料の 3 ページお願いします。
0:14:43	補正図書で下から二つ目の耐震性に関する説明書を各施設の耐震計算書なんです、真崎家約 20 図書とおっしゃってましたが 19 図書、後ろ倒しになっておりますがこれ全部が
0:14:57	取水槽、
0:15:00	この関係のものという理解でよろしかったでしょうか。
0:15:04	取水縦断や有効応力解析をするために、遅れることになったものという理解でよろしいでしょうか。
0:15:14	中国電力の内藤です。
0:15:17	全部、
0:15:19	ではございませんで、土木構造物の関連以外でも、間の耐震性についての計算書の主蒸気系のものにつきましては、
0:15:30	弁の動的機能維持評価に時間を要しているため、5 階から 6 階になっているものがございます。以上です。その意見以外は全部土木関係という理解でよろしいでしょうか。
0:15:43	中国電力の相田です。
0:15:47	1 件入れもございます。例えば遠隔手動弁操作設備についてもあるのですが、
0:15:57	後ろ倒し 5 階から 6 階に潮田をしたものと、逆に 6 階から 5 階に前倒したのもございまして、前倒したものとしましてはベント管の耐震性、
0:16:08	ほか、真空破壊装置、ダウンカマーベントヘッダ、
0:16:12	等ございまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:18	大体それで相殺されているような形になっておりまして、主に遅れていて、
0:16:24	変更んってるのが人情当初は主に土木構造物という説明をさせていただきました。以上です。はい規制庁のです。いや遅れてですねこれがさらに遅れることがあり得るのかというのを、
0:16:39	確認したくてちょっと原因を聞きたかったんですけども。
0:16:43	基本的には、土木関係のものとかあと主蒸気管はその計算がちょっと遅れていると。
0:16:51	というのが、あるぐらい何か、さらにこれから遅れるような要素、遅れが発生するような恐れはあるんでしょうか。
0:17:07	中国電力の内藤です。
0:17:11	第 5 回から第 6 回に、
0:17:13	したものの所系の間の耐震性、
0:17:17	あと遠隔手動弁操作機構、先ほど申し上げておりませんが、記念関係ですと、残留熱除去系熱交換器の耐震性についてもありますが、
0:17:27	こちらについては
0:17:32	他には間に合いませんでしたが、第 6 回には間に合わすように対応してい参ります。以上です。
0:17:41	受注に計算間に合わなかったけどこれ以上延びるような恐れはあまりなさそうという理解なんですかね。
0:17:52	中部電力の内藤です。その認識でございます。はい。以上です。
0:17:57	はい。わかりました。
0:17:59	記念の計算書結構量が多くていつも残る残ることが多いと思うんですけど、全体のスケジュールには影響ないという、
0:18:15	提供してないという理解でよろしいですか。
0:18:20	中国電力の内藤です。
0:18:22	はい、貴殿の、
0:18:24	計算書については
0:18:27	はい。の遅れが、今、全体のスケジュールに影響してるとは考えておりません。以上です。わかりました。ありがとうございます以上です。
0:18:46	規制庁の服部です。他にあればお願いします。
0:18:56	規制庁皆川です。
0:18:59	⑤思慮関連してなんですけれども、
0:19:06	⑤の資料で島根 2 号の工事計画、全体のその説明工程が一の、
0:19:16	でいて、備考欄のところ旁に多分数字が振ってあるのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:24	昨年の12月IIの審査会合で、島根2号の設工認として、
0:19:33	詳細設計の申し送り事項とか、そういうのを今後審査会合で説明していきますという項目を
0:19:44	備考欄に記載してると思うんですけども、ちょっとその関連で確認をしたくてですね、ちょっとまだ説明されてない図書
0:19:55	なんですけど、7番の資料、
0:20:01	7番の資料一番最後48ページ49ページ、2、
0:20:08	審査会合における主な説明事項の説明状況ということでおそらく先ほどの、
0:20:17	⑤の資料の項目に対応しているものをここに並べていてこれこの前の審査会合でも、説明があって戸田筒井館の審査会合で説明する項目を踏まえてリバイスをかけてると思うんですけども、
0:20:34	まずちょっと1点確認させていただきたいのは9月1日の会合以降、
0:20:43	この48ページと49ページで、残件として、
0:20:50	残っているものでそれで次回以降の説明状況のところ、次回以降の審査会合にて説明となっている項目については、
0:21:01	先ほどの5番の資料の説明工程を踏まえると、
0:21:07	今現状事業者としてはどれくらいのタイミングで説明しようと考えているのか、確認させてください。
0:21:22	中国電力の内藤です。少々お待ちください。
0:21:43	中国電力の内藤です。お待たせしました。
0:21:47	まず、上、
0:21:49	⑦の資料、
0:21:52	48ページ49ページですが、
0:21:57	1課、まずちょっと一括説明と、今回赤字で示させて、
0:22:02	追記させていただいてるんですが、その
0:22:05	ことについてちょっとまず説明させていただきたいと思います。
0:22:10	主な説明事項の中でも当初として
0:22:15	他社と主に違うところと、他社と同様なところ、
0:22:20	というのが主なところ、判断基準になるんですが、それで
0:22:27	主な説明事項にも、
0:22:29	計上あると思っておりますので
0:22:33	主に議論するものにつきましては、一括説明と入れておりません。
0:22:39	その一括説明とって、記載していないところについて、
0:22:46	次期説明時期をまずご説明いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:50	1-4 になりますが、サプレッション・チェンバの耐震評価につきましては、11 月下旬ごろを考えております。
0:22:59	続きまして、
0:23:05	1-6 の中の短軸粘性ダンパ、これ取水槽ガントリークレーンになりますが、
0:23:11	こちらは 2 月上旬。
0:23:15	を考えております。
0:23:19	あと 1-9、防波壁。
0:23:23	その他としておりますが、逆Tウエキの改良地盤の雨水改良解析を物性値以外ということになりますが、
0:23:32	11 月下旬を考えております。
0:23:39	その他 1 節、あと一番下ですね、49 ページの 4-5。
0:23:46	につきましては、
0:23:49	少々お待ちください。
0:23:58	中国電力の相田です。1 月を予定しております。
0:24:02	説明以上になります。
0:24:08	規制庁ミナカワですありがとうございます。
0:24:10	ちょっとまず確認なんですけど、
0:24:14	一番初めに説明があった 48 ページ 49 ページでいうと、この資料でいうと一括説明ってなってる。まず項目についてなんですけれども、
0:24:26	この一括説明っていうのはおそらくですけど、柏崎とか女川とか、あれですか、一番最後の、
0:24:38	審査会合で、その他説明事項として、資料を 1、1 件一応的な形で、
0:24:48	照っ提示をしている項目があってそれらはまさしく説明があった通り、先行実績が、
0:24:56	あたりというような項目。
0:25:00	については、このように処理をしてたっていうところが、過去あったんですけども、ここのまず一括説明っていうのはそういうことを想定しているっていう理解でよろしいでしょうか。
0:25:16	中国電力の内藤です。やはり皆川さんご説明いただいた通りでございまして柏崎と女川でもそのような整理があったものと認識し、しております、当社としてその整理をするのがこの
0:25:29	これらのものがあつたのではないかと考えて、今回記載させていただきました。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:36	規制庁皆川です説明わかりました。その上でなんですけれども、ここに一括説明で書かれている項目には、
0:25:46	おそらくその期限であったり、プラントであったり、土建であったり、すいませんちょっと全部含まれてるかわかんないんですけど、
0:25:56	項目があると思うんですけどもうそそれらの項目については、もうすでに2担当審査官とか2、
0:26:05	何て言うんすかね。事業者としてのこういう扱い方にしたいっていうその考え方、
0:26:13	要はその先行実績もすでにあって、島根で適用することについて、大きな議論に、議論にならない。
0:26:24	良いので、こういう扱いを考えてますっていうその認識は、事業者側とこちらの担当審査官側、
0:26:34	認識が合ってるっていう理解でよろしいでしょうか。
0:26:42	中国電力の内藤です。
0:26:45	事前耐震、まず毅然耐震につきましては、
0:26:51	そのような認識を当社の方から説明させていただいていると。
0:26:57	いう認識です。土建耐震につきましては、土石流影響評価、
0:27:05	だけですかね。
0:27:11	あと今回追加したもので土石流影響評価につきましてはその認識で当社としておりますんで、4-6につきまして新規性追加したものですのでこちらは、
0:27:24	お話できてないものと、
0:27:26	考えておりますが当社として、今回こう考えたというところになります。プラント関係につきましては、
0:27:35	2-2と3-1については、認識取れているかと思っております。A3の参考3-4につきましては今現在説明中のものと説明まだしていないものになりまして、
0:27:47	認識が取れているかというところではないかと思いますが当社として今回、
0:27:53	考えて記載させていただいたというところになります。以上です。
0:28:02	規制庁ミナカワそうするとこの今、一括説明って書いてある。
0:28:07	のは、
0:28:09	全部が全部、事業者側と担当審査官側でまだ認識合わせができてない。
0:28:20	という理解でいいですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:25	中国電力の内藤です。
0:28:27	はい。概ねできておりますが全部が全部ではないという認識です。以上です。
0:28:39	規制庁皆川です状況はわかりました。
0:28:49	はい。
0:28:53	それと、今、一括説明としてないもの。
0:29:00	四つですかね。
0:29:05	1-4 サブチャン-1-6 の、
0:29:10	完熟粘性短波。
0:29:12	阿藤 1-9 の防波壁
0:29:17	あとは 4-5 ですか、4-5 の取水槽、
0:29:22	大賀今、説明状況としては次回以降の審査会合にて説明というのがあって、それらについて 11 月下旬の会合、
0:29:34	事業者の考え方で考えとしては 11 月下旬頃とか、来年の 1 月、来年の 2 月上旬っていうのがあったんですけれども、
0:29:47	一応今 3 番の資料だと来年の 3 月まで、3 番、すいません 5 番ですか、⑤、
0:29:57	来年の 3 月、D2、説明工程としては、
0:30:04	ラインが引かれてますけれども、それを踏まえても、先ほど説明があった四つ、
0:30:14	については、それぐらいに、
0:30:18	審査会合で説明をして、
0:30:21	3 月ぐらいまでには、概ね全体を説明できる。
0:30:28	という考えだという理解しとけばいいですか。
0:30:33	例えば単軸粘性ダンパって、
0:30:35	聞き間違いじゃなければ来年の 2 月の下旬とかっていう話があったんですけれども、
0:30:41	そこら辺いかがでしょうか。
0:30:47	中国電力の内藤です。
0:30:51	審査会合につきましてはまず説明させていただいて、そのあと、
0:30:58	1 回コメント回答があるものとして考えて現状
0:31:07	⑤の、
0:31:08	工程を引いております。
0:31:11	で、
0:31:13	特に先ほどお話ありました

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:16	筒井とガントリークレーンにつきましては2月上旬と。
0:31:19	説明しましたが、
0:31:22	ちょっと2月上旬、結構すん3月迫ってると認識しているのですが、
0:31:28	2月上旬にまず説明させていただいて、コメントが出れば、
0:31:34	コメント回答の審査会合を3月にさせていただこうと。
0:31:38	という想定で
0:31:40	当初の想定になりますが、
0:31:42	説明工程を引かせていただいております。以上です。
0:31:49	皆川です現状はわかりました。
0:31:53	何か今の事業者の説明を踏まえて、各担当から確認したいこととかありますか。
0:32:02	1件ですか。
0:32:05	規制庁、大野です。すいません期限側なんですけど、起点側の主な説明事項について、説明どれぐらいの時期にするのかっていう話はしたと思うんですが、
0:32:19	説明をちょっとまだ充実させてくれという段階で一括説明、これで良いということで合意までは取れてなかった。
0:32:28	だと思うんですがいかがでしょうか。
0:32:45	中国電力の内藤です。失礼いたしました。
0:32:52	当社としましては
0:32:55	合意まで図れたのかなというふうに思っておりましたが
0:33:01	この一括説明自体が最終的に全部そうなるかというのを説明しない。
0:33:07	してないものについてはしないとわからないというところもあるとは当然認識しております。今回、
0:33:13	この一括説明、
0:33:15	先行電力では途中の段、審査会合の途中の段階でこの説明状況を審査会合で出しているところはなかったかと。
0:33:26	柏崎と翁長。
0:33:29	見てなかったかと思っておりますけどちょっとこの記載を、
0:33:32	どのようにしていくのかというのはちょっと支社でもちょっと悩んでいるところがございます。以上です。
0:33:39	この、こっちの記載わかりましたが意見としてはお盆明けにまた記念の分ですね、藤氏、介護にかけるスケジュール等を、
0:33:52	打ち合わせすることになったかと思えますんでその時また再度
0:34:00	打ち合わせさせていただきます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:04	中国電力の内藤です。はい。
0:34:07	その認識がございますのでご説明させていただきます。以上です。
0:34:14	規制庁チギラです。すいません露見コンテでちょっと今の⑦の資料の4849 ページでちょっと確認なんですけど、
0:34:24	まず1の漂流物衝突荷重の設定っていうのは、今回9月1日に方針とか荷重の設定っていうところまではお話を聞くと思うんですけど、
0:34:36	漂流物対策工については宿題として残って、
0:34:40	いるのかなというふうに思ってますんで、漂流物対策工については
0:34:45	今の記載度と1-5の論点として説明をされる。
0:34:50	と、理解しておりますので、ちょっとこの48、
0:34:54	ページだと、ちょっとそこが書き足りてないのかなというふうに思いますが、この点についていかがですか。
0:35:02	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:35:05	しゃべる通りちょっとここ記載を追記させていただきたいと思います。時期といたしましては棒廃棄1-9の防波壁と、
0:35:13	同時の時にご説明できるようなことを今考えて進めております。以上です。
0:35:20	はい、わかりました。
0:35:23	次が1の機能防波壁なんですけど、笛木でその他ということで次回11月下旬ということで説明があるんですけど、
0:35:34	貿易も三つタイプがあってそれぞれに論点が、数多くあるんですけど、これはプレイズ11月下旬に一通り説明いただけるということですかね。
0:35:47	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。今11月下旬を目指して、
0:35:52	その他の論点のものについて、ご説明できるようにしたいと思ってます。で、
0:35:58	一応年内ぐらいまでにそれらの1ヶ月以降、失礼いたしました。11月下旬に1回かけてそのあと、
0:36:06	衛藤3月ぐらいまで工程を引いているんですけどもこれらについてはそれらのコメント回答を含めて、ご説明をしていくというふうなことを考えております。以上です。
0:36:16	はい。規制庁チギラです。わかりました。最後が49ページの4-6で一括説明の花Cで、これはまだ
0:36:28	こちらとしては何ら説明を聞いていないので、一括説明で、どう考えてるのかなっていうのは、私も聞こうと思っていたんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:39	これはあれですかね。
0:36:41	今後説明があつて、先ほどの衛藤さんの話だと必ずしも一括説明にならないということだったんですけど、
0:36:50	まずあれですかね、資料。
0:36:54	説明していただいてそれでそのあたりは、
0:36:58	判断するというところでよろしいんでしょうか。
0:37:07	中国電力の落合です。先ほど、チギラさんのおっしゃった通りで4-6についてはまだご説明しておりませんので、今後、中身も含めてですねご説明させていただきたいと思います。
0:37:19	先日網羅性の資料の中でここについては設置許可の時から、モデル化の考え方をちょっと先行に合わせた形で、
0:37:29	立体モデルに立ち上げるということでご説明させていただいたので、今回ちょっとここに挙げさせていただきましたけれども、詳細は今後ヒアリングでご説明させていただくのと、
0:37:39	一応先行とは全く同じことをやろうと思っておりますので、当社の希望としては一括説明ということで記載させていただいたものになります。以上です。
0:37:51	はい。規制庁キーフレーズはい、考え方についてはわかりました。
0:37:55	はい。
0:37:56	プレイズ以上です。
0:38:05	規制庁のハットリです。
0:38:07	他、全体について確認する点があればお願いします。
0:38:17	中立的ですけどいいですか。
0:38:20	吉崎さんどうぞ。
0:38:21	すいません。今パワポの最後のページの49ページの、
0:38:27	3-3の第4保管エリアの形状の変更。
0:38:31	これも今、ミシマヒアリングでコメント中で、
0:38:37	おそらくコメン等が反映されれば、そんなに問題にはならないのかなと思っています。まあだ中屋層一括一括説明でもいいのかなっていう、今はそういう状態ですね。
0:38:49	現状そんなに重たい論点はないので一括でいいのかなと思ってます。
0:38:55	以上です。
0:39:05	では続けて規制庁のサイトウから質問しますこの4849ページの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:12	一括説明なんですけども、今回このタイミングの会合でここにこう一括説明というふうなことを書いて説明される意図は、意図を教えてください。
0:39:24	中国電力の内藤です。
0:39:27	当社としてもちょっと少し迷っているところでございますがこの一括説明を入れたい。
0:39:35	すべて次回以降、次回の以降の会合にて説明というステータスになって、
0:39:43	手嶋委員。
0:39:44	てしまうのところにちょっと気にして一括説明と入れさせていただきました例えば、南野火災感知器の配置については、
0:39:55	ルー
0:39:56	後の、
0:39:57	説明工程の方では
0:40:01	当施設共通の説明書、
0:40:04	13番になるのですが、こちらコメント対応済みと。
0:40:08	備考欄に記載しまして、グレーハッチングをかけさせていただいております。
0:40:13	ここ、
0:40:14	ここ欄との整合が、
0:40:19	わからないかなというところも考えまして、一括説明というのを
0:40:24	入れた方がいいのかなというところに入れさせていただいたというところになります。以上です。
0:40:33	若井説明についてはわかりました
0:40:36	今の河西の間火災感知器の関係は⑤の資料でグレーになっていて、コメントのやりとりもある程度終わっているので、
0:40:47	一括説明と書いてあるのも、
0:40:50	各担当に確認しても、
0:40:53	何だろうこれはまだ論点が残ってるって可能性は低いのかなと思うんですけど、この火災感知器のようなものではなくて例えば⑤の、
0:41:02	資料でいくとそのグレーになってないもの、
0:41:05	について、今今の時点でこの一括説明という形で説明をこちらとして受けたときに、
0:41:11	何か黙っていると、了承したみたいなことになりそうな気もして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:17	そうしないとするとじゃあこの一括説明で本当にいけるのかっていうのを、次回の会合で、次回の会合というのは
0:41:26	9月の会合ですけどその会合で、
0:41:29	1個1個やりとりしなくちゃいけなくなるような、
0:41:32	気もしたりするのでその辺も考えながら、この表に今回どこまでどう書くのかというのは考えていただければなと思います。
0:41:43	以上です。
0:41:48	中部電力の会田です。承知いたしました。
0:41:53	当社で再度検討させていただきますが、先ほどの⑤の資料を見れば
0:42:01	コメント対応済みかどうかという清竜は、
0:42:04	わかりますので、そちらで、
0:42:07	示すことで4849から一括説明という記載は
0:42:13	そこを見ればわかるというところで、削除させていただく方向でちょっと検討させていただきたいと思います以上です。
0:42:22	はい全部落とすかどうかまでそちらからどうしなさいってことはないですけどもご検討いただければと思います。あと、すいませんルー405の辺りの資料についてなんですけれども、
0:42:38	この⑤の資料で、
0:42:40	全体説明が3月、来年の3月で終わると。
0:42:44	いう説明が初めてあったのは、
0:42:47	今年の3月の会合のときに、
0:42:50	補正の回数が増えたことに伴ってそういう説明があったわけですけども、
0:42:56	その後6月の会合、
0:42:59	今回のこの資料等どんどん
0:43:02	この線、説明、
0:43:07	時期の線が右に伸びたり、
0:43:10	あとは右の方に移動したりという古藤。
0:43:14	がかなりこう項目が多くてですね。
0:43:17	なってるわけですけども、
0:43:20	ただその説明をいるのは3月っていうのはずっと変わってなくって、
0:43:24	そこは大分押しオノお尻の方に固まって、説明、
0:43:32	事故が多くなる。
0:43:33	おそらく一緒になったって事なんか論点がありそうなものが多いから一緒になってるってことだと思うんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:39	それでもなお3月末に
0:43:44	何だろう、こうしたいということはもちろんあるんでしょうけど、現実的に そうできるかどうかってことを踏まえても、来年の3月に説明が終えられ ると。
0:43:54	いうふうに、今考えていらっしゃるということによろしいでしょうか。
0:44:01	中国電力の内藤です。
0:44:03	はい。まず、最初の4849ページ、すべて1ヶ月のケースかどうかという ところは
0:44:11	も含めて当社で検討したいと思います。あとは0。
0:44:15	このスケジュールにつきましては3月末、
0:44:20	に対して齋藤さんおっしゃる通り、
0:44:24	だんだん工程が伸びているというのは確かに事実としてあると認識して おりますが、
0:44:31	3月に向けて、コメント回答期間を想定した上で、今回、
0:44:36	今までもそうなんですけど今回の
0:44:40	現状想定
0:44:42	赤い破線については、そこを踏まえて線を引かせていただいております ので、3月末、
0:44:49	に向けて
0:44:51	説明させていただければと思っております。以上です。
0:44:58	はい。考え方については承知しました。
0:45:01	はい。私からは以上です。
0:45:07	規制庁の矢崎ですが05番のですね。
0:45:11	共同に関する説明書の4番目の防波壁、下の方ですね、これって前回 から多分大幅に2ヶ月半ほど、
0:45:21	遅延してるという状況で、その要因は、今、今日も、
0:45:26	行って次介護行方。
0:45:29	漂流物衝突果樹。ここがいろいろとサイロ再検討とかいろいろ行って いて、基本的には遅れていると。
0:45:39	いうふうに理解できるんですが、それでよろしいでしょうか。
0:45:45	はい。中国電力のヨシツグでございますその理解でございます。以上で す。
0:45:53	その他屋外重要構造物は大分前に、会合としては、今回になるんです けど、ヒアリングとしては概ねも改良地盤の物性値って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:02	もう何ヶ月前に、1、2ヶ月前にはほぼ、概ね大体お互いに了解できるような状況になっています。で、
0:46:10	前回遅れるって言ったのがその改良地盤の部分ですね。追加。
0:46:15	検討ってことがあるので、遅れるって話になってるんですが今回遅れる理由ってのは、どの辺なんでしょうか。
0:46:23	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:46:27	今回は隣接構造物、その他、周辺の目戻しのところを液状化で評価するというので、
0:46:35	衛藤さらに
0:46:37	有効力解析の場合でも液状化を考慮しない場合の影響と、そういったものもちょっと追加で検討しておりますので、申請資料等は準備させていただきまして、補足説明資料の中でそういったものを改めて追加の検討を今しております。それらを踏まえて工程の方を少し見直しをさせていただきました。
0:46:56	江崎です。いわゆるあれですね、他サイトの実績を踏まえた上で、不確かさの部分のケースが追加として追加せざるをえないと。
0:47:06	いうことを考えたということと、多分あと全力でいいと思っていたけどやっぱり有効力解析もやらざるをえないなっていうことが、審査の中でわかってきたので、その追加を、
0:47:19	があって、遅れてきてるといふふうに解釈しました。
0:47:32	規制庁チギラすみません、⑤の資料でちょっと教えていただきたいんですけど、衛藤、下の方の耐震性に関する説明書の2ポツのところ
0:47:43	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性のところが、
0:47:49	線がですねそれ、その
0:47:53	行の線っていうのは、12月の中旬で終わっていて、その下の個別のですね論点のところを見ると、もっと先に延びてるやつがいるんですけど、この表っていうのはここを
0:48:09	これで正確ですかっていうのと、この
0:48:13	2ポツっていうのは、タイ全体の計算書を見て、
0:48:17	見て、全体の計算書はこの範囲で見ますと、論点についてここにあります。下のポツでありますと、そういう言い方でいいんですかね、ちょっと二つ教えてください。
0:48:30	中国電力の内藤です。
0:48:33	大変失礼いたしましたこの2ポツの赤の電線は
0:48:39	ちょっとここは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:41	間違っております、3月、
0:48:45	建物構築物の耐震計算書、2の二つ目のポツのところですが
0:48:52	6のところに合わせて3月まで一というところが、正しい形となります。
0:48:59	の1につきまして、
0:49:02	耐震設計の基本方針も
0:49:05	10月の中旬、
0:49:07	これまで鋭意、
0:49:10	ということになります。
0:49:14	失礼いたしました44につきまして損。
0:49:18	ちょっと線が垂れてませんので、そちらも、
0:49:20	聞くということ、3月の中旬ぐらいまで行くということになります。考え方としては、
0:49:26	土肥。
0:49:28	2の耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性につきましては、
0:49:36	図書が、
0:49:39	38図書ぐらいありますんで、その図書が全部説明しきる期間、劣化通下の
0:49:47	主な説明事項等も説明できる時間を全部引くところの考え方になります。以上です。
0:49:54	はい、わかりました。
0:49:56	あくまでこれですね。最近経産省の説明と、コメント回答まで含めて先ほどの話だと3月まで今想定してると。
0:50:06	そういうことで、理解しましたが、
0:50:11	で、うちの方はちょっと整合とれるようにお願いします。以上です。
0:50:18	中国電力の内藤です。承知いたしました。
0:50:25	規制庁のハツリです。他あればお願いします。
0:50:43	すいません規制庁のタダウチですけど、さっきちょっとお話が出てたんですけども、
0:50:50	今一度ちょっと確認なんですけど、一括説明っていう話については、どういうお考えで一括説明というふうに、
0:51:00	扱おうと思ってるんですかね、その意図するところちょっともう1回。
0:51:07	教えていただけませんか。
0:51:12	中国電力の内藤です。
0:51:15	一括説明というところにつきましては

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:19	例えば1の詳細設計申し送り事項につきましては、
0:51:24	TOTO社の設置許可から申し送っている事項になるんですが、そっち。
0:51:29	それにつきましては
0:51:32	主な説明事項としておりますが、他社と、
0:51:36	大きく違わないとか、論点が、他のものと比べて、
0:51:43	少ないと。
0:51:44	いうところにつきまして一括説明と、
0:51:46	いうところを考えております。2のバックフィット関連につきましても火災感知器の説明につきましては他社さんも実施されているというところで、
0:51:59	以下説明と、
0:52:00	させていただきます。
0:52:05	ローン装置でいうと、論点が少ないと、当社で案内、考えたものにつきまして今回一括説明ということで記載させていただきました。以上です。
0:52:17	規制庁田内です。御社としてね、どうされたいのかっていうところなのかなと思ってはいるんです。他社さんがっていうよりは、
0:52:28	御社としてどう考えてるのか、その中でね、そもそも論とするとそれ、それぞれの項目っていうのは、個別にちゃんと説明して議論をしましょうよってのが大前提のスタンスだと思っているんです。
0:52:42	その中で、例えば論点としてね、先ほどおっしゃってた通り、従前のものとか先行例を踏まえて、
0:52:53	論点がないとか、もうそういったところであまり議論するようないところがないですよとか、
0:52:59	スケジュール的な見通しがもうほぼ立っていて、見通しついているからじゃあ後でまとめてやってもいいですよとか、そういったような感じで、
0:53:08	おそらく、何て言いましょ、バスケットクローズ的に最後の方でまとめられるのであれば審査の合理性を追求するのであればこういった方法は、適切であるという話で、
0:53:22	やるっていう話ではないのかなと思っているんです。そういったところからすると、現段階でね、全部見通し立ってるのか立ってないのか、そこら辺もちょっとよくわからないんですけれども。
0:53:34	そういったところで、一括説明ってこともあらかじめここに入れ込んで、
0:53:40	ちょっと言い方悪いですが1課説明の中に放り込んでしまうとあまり議論しなくていいみたいなふうになんか免罪符になったりするのとは私すごく嫌なんですけれども、本来議論すべきことがあるのであればきちっと議論しなきゃいけないし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:53	ないんであればないんですって宣言した上で、しっかりとこういうところでまとめて説明させていただきますってことをやらないと、審査としてもこぼれ落ちが生じかねないので私としてはちょっといささかいかかなものかと思っているんですがいかがでしょうか。
0:54:09	中国電力アガワです。
0:54:12	タダウチ様の意見の方了解いたしました先ほど齋藤さんの方からですね、いただいた意見も踏まえまして、⑤の方の資料ですね、
0:54:23	等の兼ね合いを見ながらですね、一括説明というところの記載については、
0:54:28	再度検討させていただきたいと思います。学んだ中にはですねヒアリングの中でおいて、
0:54:34	こちらとしては担当官様の方と合意ができてるものっていうものもあったと思う。認識はしていますがただここでそういったことを書く必要があるかないかについてはですね再度検討させていただいて、
0:54:47	基本的には記載しない方向で資料の方を準備させていただきたいというふうに考えております。以上です。はい。規制庁多田です。記載するかしないか中国電力側のね、ご判断とは思っているんですけどもそういうフェーズでそういう判断ができるのであれば構わないと思いますが、
0:55:05	そこら辺をしっかりと見定めた上でやっていただきたいと思います。以上です。
0:55:10	はい、中国電力アガワです。了解いたしました。
0:55:23	規制庁の服部です。他あればお願いします。
0:55:28	私から2点ほど確認させてください。
0:55:31	⑥の資料、
0:55:34	例えば5ページ。
0:55:43	4ページぐらいですかね。
0:55:47	土建関係の、
0:55:49	説明、
0:55:54	計算書が
0:55:56	A3の1ページ半にわたってあるんですけども、
0:55:59	これを見ると大体3ヶ月程度で、これをすべて説明し切ると。
0:56:04	というような工程にはなってると思うんですが、
0:56:07	工程計画の中で、
0:56:11	これ基本的に土建関係は水曜日と金曜日の枠をとってるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:18	その枠内で説明できるという。
0:56:22	前提で、この工程表を引いてると理解してよろしいでしょうかどうぞ。
0:56:29	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:56:32	はい。今
0:56:34	ヒアリングの工程を見ておりました、1回のヒアリングで計算書大体2当初ぐらいはご説明できると考えております。
0:56:43	それらを周ミカイいんことで、ちょっと優先順位を考えて説明の順番振ってあるんですけれどもそういったことで、
0:56:53	説明と、あとは期間を考えて、割り振りをさしていただいております。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。
0:57:03	大体どんな業務もそうですけれども、無理に工程を押し込めると、結果的には、それが遅延するということになりますので、あまり無理に押し込めるとような工程は作らない方がいいんじゃないかなということ
0:57:17	どのような考えでこういう工程を引いているのかなということを確認をいたしました。
0:57:21	その点については承知をいたしました。
0:57:25	あと1点10ページをお願いしたいんですけれども、
0:57:36	ちょっと例えばなんですけれども、例えば10ページの一番下のところにですね、各種強度計算書がありますと、これは
0:57:46	耐震計算書とか、事象と計算書が大体11月、10月からスタートになってるにもかかわらず、ここは9月からのスタートになってるということで、
0:57:56	この9月からのスタートのところは、どのような説明をされるのかということ
0:58:01	念のために確認させてくださいどうぞ。
0:58:14	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:58:17	例えば暴排機の
0:58:21	経産省り強度計算書でいきますと、
0:58:26	この7月に貿易の逆T擁壁に関する、
0:58:30	計算書をつけ、
0:58:32	ています。
0:58:40	すいません失礼いたしました。
0:58:41	衛藤。
0:58:43	ページを間違えても、10ページの一番最後のあたりでいきますと、この強度計算書火山に関する強度計算書でございます、これは7月に、
0:58:52	申請書を提出させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:55	これらについては 9 月、
0:58:58	カラーで十分説明できるというふうに考えております。以上です。規制庁の服部ですわかりました。例えば原子力建物の強度計算書が 9 月からになっていて、
0:59:09	どういふことを説明するのかなということで、その他自然現象のような形のもので説明できるものは 9 月から説明するという事で理解しました。
0:59:18	私からは以上です。
0:59:20	他に。
0:59:22	全体について確認する点がある方お願いします。
0:59:26	よろしいでしょうか。
0:59:27	中国電力側から何か追加で確認しておくことがあればお願いしますまず、中国電力本社側からお願いしますどうぞ。
0:59:36	中国電力本社ナイトウです。こちらから特にございません。以上です。規制庁の服部ですすいませんちょっと忘れてましたがリモートの方で確認すまだ確認することがあればお願いしますどうぞ。
0:59:48	吉崎さんいかがですかどうぞ。
0:59:52	はい、井関です。特にないです。
0:59:55	規制庁のハツリですはい。藤川さんいかがでしょうかどうぞ。
1:00:01	藤川です私も大丈夫です。
1:00:04	規制庁の服部です。では対面が中国電力の対面側から何か確認する点があればお願いしますどうぞ。はい。中国電力ヨシツグでございませす。特にございません。以上です。
1:00:15	規制庁の服部ですはいわかりました。それでは中国電力本社側の方で振り返りの方の準備をお願いしますどうぞ。
1:00:25	中国電力内藤です少々お待ちください。
1:01:02	中国電力タイガワですが目の補強いたしましたけども確認。
1:01:06	減ってますでしょうか。
1:01:09	規制庁のハツリですはい確認できていますので、一つずつ確認お願いしますどうぞ。
1:01:16	中国電力タイガワです。まずナンバー1 ですけども、
1:01:20	⑦の資料について、
1:01:24	⑦の資料のページで、次の 4849 ページですけども、新審査会合における主な説明事項の説明状況の
1:01:34	一括説明。
1:01:36	のところについて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:38	1 図形
1:01:39	等についても考慮した上で、記載をするかどうかについて検討すること。
1:01:46	としてす。規制庁の服部です。はい。
1:01:50	はい。では一番について、何かあればお願いします。
1:01:54	よろしいですか。
1:02:05	規制庁のハツリですはい。記載の方はコメントのほうはこれで結構ですののでしっかり検討していただくようお願いしたいと思います。
1:02:16	では 2 番お願いしますどうぞ。
1:02:19	中国電力イタイガワです。No.2 ですが、⑤の資料の 1 ページ目。
1:02:26	スケジュールの方ですが、耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震計算について、
1:02:33	スケジュールを適正化すること。
1:02:36	以上になります。
1:02:39	規制庁の服部です。2 番についてよろしいでしょうか。
1:02:42	はい。では 2 番についてもこれで結構です。
1:02:45	では振り返りの方全体を通して規制庁から何か確認する点があればお願いします。よろしいですか。
1:02:52	中国電力側から何かあればお願いします。
1:02:55	よろしいですか。
1:02:56	はい。では
1:02:58	審査会合案件の説明について、全体についての説明については以上としたいと思います。
1:03:04	では一旦休憩に入って人の理解等を行いたいと思いますので、録音の方を 1 回停止します。
1:03:17	規制庁のハツリです。
1:03:20	それでは、島根 2 号機設工認についてヒアリングを再開いたします。
1:03:25	ヒアリング、後半戦はですね、審査会合案件の説明のうち、土建関係の説明になります。よろしいでしょうかどうぞ。
1:03:39	中国電力の落合です議題で問題ございません。以上です。
1:03:44	規制庁の服部ですはい。それでは説明を始めてください。どうぞ。
1:04:06	規制庁の反力の部屋です。すいません。電力中央所長の服部ですすみませんでしたどうぞ。
1:04:13	申し訳ありません。中部電力渋谷です。それでは資料番号 7 番の説明をさせていただきたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:20	江藤。資料 1、パワーポイントの資料じゃなくて資料 7 ですか 1 ページ お願いします。
1:04:28	すいません。規制庁の土岐ですけども、多分この後にですね、
1:04:32	午前中の続きがありますので、1 件 5 分ぐらいの感じですね大体皆 の読んできてはいるので、ご紹介程度の説明していただいて、
1:04:44	我々の方で事実確認とか、指摘があれば、そこに重点を置いた方が多 分、次回、
1:04:51	いいぐらいで大体資料ができ上がってないと 9 月 1 日に会合できませ んので、そういった形で説明いただけないでしょうか。
1:05:02	中国電力の落合です承知いたしました基本的の中身については、今まで も説明しておりますので、主には構成をこういうふうにしてますというこ とで、5 分程度で、1 件について 5 分程度でご説明させていただきたいと 思います。以上です。
1:05:17	規制庁のハツリですでは説明を始めてくださいどうぞ。
1:05:22	はい中国電力渋谷です。それでは資料 7 番の 2 ページをお願いします す。
1:05:28	当資料の間 7 番の 2 ページから 4 ページには詳細設計段階での申し 送り事項とその回答を表に整理してありまして、詳細な説明を 6 ページ 以降に示しております。5 ページをお願いします。
1:05:46	ここでは本資料の概要を示しております。島根原子力発電所では既工 認時に 1 次元波動論や二次元 FEM モデルにより、緑地振動を評価し てありまして、
1:05:57	今回工認でも、既工認において採用実績のある評価書を採用しており ます。
1:06:02	本資料は解析モデルに建設時以降の敷地内の追加地質調査結果の 反映等も行っていることも踏まえまして、今回工認で用いている入力地 震動の評価方針、
1:06:13	解析モデルの設定方法及びその妥当性を示すものになっております。
1:06:19	6 ページをお願いします。
1:06:23	それでは入力地震動の評価方針として評価及びその妥当性保守性の 確認に関する検討フローを示しており、
1:06:31	入力地震動評価の評価の上で、島根原子力発電所の特徴となる項目 を赤枠で示しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:41	特徴として挙げているもののうち、評価手法の選定に関する特徴については 2.2 項で、詳細な説明をした上で 2.3 項でその保守性について説明しております。
1:06:52	地盤モデル及び地盤物性値の設定に関する特徴については、3.1 項から 3.3 項でその妥当性について説明しています。
1:07:01	また申し送り事項にはなっておりませんが地盤モデルの妥当性及び保守性を確認。
1:07:06	保守性の確認として、必要に応じて実施した検討を参考として 15 ページから 16 ページに示しております。
1:07:14	それでは 7 ページをお願いします。
1:07:18	ここでは、特徴として挙げております入力地震動の評価手法の選定のフローを示しております。
1:07:26	入力地震動の評価手法は建物の耐震クラスや、埋め込み状況周辺地盤への設置状況を踏まえまして、フローに従って、建物構築物ごとに選定をしていることを記載しております。
1:07:39	8 ページをお願いします。
1:07:43	ここでは今回購入において 1 次元波動論で入力地震動を算定しているタービン建物及び廃棄物処理建物を対象に、二次FAモデルによる入力地震動を算定しまして、
1:07:54	1 次元波動論による入力地震動の加速度応答スペクトルとの比較をすることで、1 次元波動論を採用することの保守性を確認したページとなります。
1:08:06	14 に、入力地震動の加速漏斗スペクトルの比較として、1 次元波動論のトーク路線で、2 次元FEMの応答を赤線で示しておりまして、検討の結果から、入力地震動の算定に、1 次元波動論を採用することの保守性を確認することができたことを記載しております。
1:08:23	続きまして 9 ページお願いします。
1:08:28	ここからは地盤モデル及び地盤物性値の設定に関する妥当性の確認の検討についての説明になります。まず 3.1 項では、表層地盤の物性値を一定とすることに関する妥当性の確認として、
1:08:41	地震動レベルごとに、表層地盤の物性値を一定にしている今回工認の入力地震動と、表層地盤の物性値に和泉依存特性を考慮した等価線形解析を実施した場合の入力地震動を比較しております。
1:08:54	16 に図 6 には、加速度応答スペクトルの比較として、今回工認ケースを黒線で、等価線形海水ケースを赤線で示しておりまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:05	検討の結果から、表層地盤の物性値を、地震動レベルに応じた等価物性値として設定することの妥当性を確認することができたことを記載しております。
1:09:17	続きまして 10 ページをお願いします。
1:09:22	ここでは図 7 に示しますように、岩盤 1-2 にわずかに含まれている D 級岩盤の物性値の設定に関する妥当性を確認することを目的として、
1:09:32	D 級岩盤の非線形性を考慮したケースとしていないケースの加速度応答スペクトルの比較を行っております。
1:09:40	通級で加速度と応答スペクトルの比較を示しておりますが、検討の結果から、D 級岩盤の物性時の設定を岩盤市野に合わせて線形とすることの妥当性を確認することができたことを記載しております。
1:09:54	11 ページをお願いします。
1:09:58	ここでは、今回工認モデルのメッシュ分割高さの妥当性を確認するために、対向等価振動数を 20Hz をしている今回工認モデルと、最高 10 日振動数を 50Hz としたモデルにより算定した入力地震動の加速度応答スペクトルの比較を実施しております。
1:10:16	図 1 に、加速度応答スペクトルの比較を示しております。今回工認モデルを黒線、50Hz10 日モデルの応答を赤線で示しております。
1:10:25	検討の結果から、今回工認において、
1:10:29	最高 10 日振動数を 20 ヘルツとしてメッシュ分割高さを設定することの妥当性を確認できたことを記載しております。
1:10:37	一方で EW 方向の最高、高振動数領域 25 から 30Hz 付近に着目しますと、
1:10:45	50Hz10 日モデルの応答が大きくなっておりまして、この点については、機械は機器配管系の影響検討を実施しております。その検討内容を 12 から 14 ページに示しております。
1:10:58	12 ページをお願いします。
1:11:02	12 から 14 ページでは今説明したように、25 から 30Hz 付近で 5010 日モデルの EW 方向の応答が大きくなっていることに対して、
1:11:12	機器配管系への影響を実施しております。
1:11:16	評価対象は、20Hz 以上の振動モードを、影響を無視できない弁の動的機能維持評価として、13 ページから 13 ページに検討方針とそのフローを示しております。
1:11:30	14 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:33	14 ページでは検討結果を示しておりまして、この検討結果から、50 減る 10 日モデルのをどう考慮しても、動的機能維持、
1:11:42	評価対象弁の耐震性への影響がないことを確認できたことを記載しております。
1:11:49	以上で入力地震動評価における資料の説明を終わります。
1:11:54	はい。
1:11:55	ここで説明変わりました。
1:12:02	規制庁の服部ですどんどん続けていってもらって結構ですすいません。よろしく願います。
1:12:09	失礼いたしました。はい。中国電力の清水です。それでは 17 ページから、論点 1 の 5、漂流物衝突荷重の設定につきましてご説明いたします。
1:12:19	まず、17 ページにつきましては、
1:12:23	上半分、括弧として設置許可審査を踏まえた詳細設計段階に、への申し送り事項としまして、まず一つ目二つ目の矢羽根では、設置許可審査でのご説明事項を記載し、
1:12:37	3 三つ目の矢羽根におきまして、申し送り事項として、を踏まえ、検討、詳細設計段階において検討を実施した内容について四つのポツで記載してございます。
1:12:49	また、下半分の方にまた記載してございますが、こちらは昨年 12 月 7 日の
1:12:57	1018 回審査会合における指摘事項について記載させていただいております。
1:13:05	こちらにつきましては、衝突荷重の評価について、検討フローをしてお示ししておりましたが、先行事例との相違点、また、新規性について整理して説明すること。
1:13:16	それから、漂流物対策工の塑性状態まで考慮し、した設計方法について説明することと、コメントを受けております。
1:13:26	今回の回答としましては前半部分の衝突荷重の評価についてご説明しております。
1:13:32	また、漂流物対策法の設計につきましては、浸水防護施設の強度計算で説明することといたしております。
1:13:39	すいませんここで 1 点誤記がございまして、四角の紙、一つ目、指摘事項のところ、1 行目でございますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:48	どこに新規性があるのかというところの、規制が規制の幹事となっておりますので、
1:13:57	はい清野字を修正させていただきます。失礼いたしました。
1:14:02	18 ページをお願いいたします。
1:14:05	18 ページには、申し送り事項及び、そちらについての回答をまとめて記載させていただきます。
1:14:12	こちらの回答に内容につきましては以降で詳細に説明させていただきます。
1:14:17	19 ページをお願いいたします。
1:14:21	こちらでは、
1:14:23	基準津波の特性及び漂流速度の設定についてご説明しております。
1:14:29	まず、基準津波について衛藤発電所近傍の海域における全方向の最大流速を抽出しまして、
1:14:36	日本海島縁部に想定される地震による津波については、
1:14:40	10メートル毎秒。
1:14:42	また、海域活断層に想定される地震による津波については、6メートル毎秒という漂流速度を設定いたしております。
1:14:51	20 ページをお願いいたします。
1:14:54	ここでは、漂流物の配置等についてご説明しております。
1:14:59	施設護岸から 500 メートル以遠の海域を、前面海域施設護岸から 500 メートル以内の海域を直近海域として区分しまして、
1:15:08	漂流物の初期配置を確認させていただきます。
1:15:12	直近海域の漁船につきましては、操業区域及び坑口の不確かさを考慮し、発電所周辺漁港で最大の相当数 19tを漂流物として評価することとし、
1:15:24	結果としましては、直近海域及び前面海域におけるそ、おいては、総トン数 19トンの漁船を選定いたしております。
1:15:34	あとすいませんこちらにも 1 点誤記がございまして、三つ目の矢羽根の中で、発電所周辺漁協と書いておるんですけども、こちら漁港の誤りでございました。大変失礼いたしました。
1:15:48	21 ページをお願いいたします。
1:15:52	これは、いろんな漂流物による衝突荷重を考慮する、
1:16:00	施設、
1:16:01	民間への選定についてご説明しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:05	地形、津波の性状漂流物の初期配置、施設の設置標高等から、図 5 のフローに基づきまして、表の 3 の通り、防波壁について、漂流物を考慮する施設として選定してございます。
1:16:20	22 ページをお願いいたします。
1:16:24	ここでは、既往の衝突荷重算定式を整理してございます。
1:16:30	既往の衝突荷重算定式につきましては、対象漂流物の種類等により適用性が異なるので、
1:16:37	表 4 の通り適用性を整理いたしております。
1:16:41	その結果、総t数十 9tの漁船による衝突荷重の算定につきましては、道路供試褒賞FEMA、
1:16:49	2012、
1:16:50	そして兵庫衝突解析が適用可能であると判断しております。
1:16:56	23 ページをお願いいたします。
1:17:01	これら既往の算定式の適用性を踏まえまして、図 6 に示す判断フローにより、漂流物衝突荷重の算定方法の選定をしております。
1:17:11	結果としまして、前面海域の対象とした船舶については、道路供試褒賞
1:17:16	また、直近海域を対象とした船舶につきましては、再現精度の高い船舶の解析モデルを作成可能であることや、衝突形態の不確かさを考慮できるということから、
1:17:28	衝突解析を選定しております。
1:17:31	なお、衝突解析による衝突荷重と比較するために、FEMA2012 による衝突荷重を確認することとしております。
1:17:40	24 ページをお願いいたします。
1:17:44	ここから 27 ページまでは、衝突解析の方法及び結果についてご説明しております。
1:17:50	23 ページでは、船舶の 3 次元モデルの作成方法についてご説明しております。こちら記載の通り、船舶の形状を詳細に把握するため、
1:18:00	3 次元測定を行い、モデル化を、3 次元モデルを作成しております。
1:18:05	また、船体の板厚FRPの材料特性につきましては、表 5 表 6 に示す通り設定してございます。
1:18:13	25 ページをお願いいたします。
1:18:17	次にこちらでは船舶の衝突形態について検討いたしました。
1:18:22	漂流物となって船舶が漂流する際には、海底の影響を受けるということを考えまして、船舶の平面方向及び鉛直方向の衝突形態を考慮し、
1:18:33	衝突解析を実施するケースとしまして、右下、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:38	11 ページ、図 11 の通り、5 方向、5 ケースのケースを、
1:18:43	選定してございます。
1:18:45	26 ページをお願いいたします。
1:18:48	ここでは船舶の衝突結果についてご説明いたします。
1:18:53	衝突解析は図 12 の通り船舶を攻撃に衝突させた際の荷重を取得し、衝突荷重としてございます。
1:19:02	公益は安全側に変位変形しないものとしております。
1:19:06	また、防波壁は、横幅 1 メートルごとの荷重を確認するために、1 メートルで区切ってございます。
1:19:12	結果としまして、主荷重の集計値としては、真横衝突の 7395kN が最大となりまして、交易 1 メートル当たりの衝突荷重は船首からの、
1:19:24	衝突で 1107kN が最大となることを確認してございます。
1:19:30	27 ページをお願いいたします。
1:19:34	ここから漂流物衝突荷重の設定についてのご説明となります。
1:19:39	19t 船舶の衝突解析においては、各攻撃の幅に応じた衝突荷重が、
1:19:46	ありまして、それを殊、13 ページ、図 13 にお示しし、また、局所的な衝突荷重としまして、
1:19:55	船首方向からの衝突荷重の分布を図 14 にお示ししております。
1:20:02	これらの傾向から、
1:20:03	19t 船舶の衝突により、施設の延長に応じて、衝突荷重を設定することでこちらを、施設全体に作用する衝突荷重として考慮することとしてございます。
1:20:16	また、施設全体に対応する衝突荷重は平均的な荷重の等分荷重となることから、図 14 に示すような局所的な荷重、
1:20:26	これを考慮するため局所的な衝突荷重を考慮することとしてございます。
1:20:32	28 ページをお願いいたします。
1:20:36	これらの設計用衝突荷重をについて、図 15 と表 8 にまとめてございます。
1:20:46	施設全体に作用する衝突荷重としましては、衝突荷重、衝突解析道路供試補償それから FEMA から算定される荷重を比較した結果、
1:20:57	衝突解析により算定される衝突荷重が最も大きくなることから、衝突解析による主、荷重を設計を衝突荷重として設定いたします。
1:21:09	また、施設全体に作用する衝突荷重は、評価対象物の延長に応じた最大幅により設定することといたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:18	局所的な衝突荷重につきましては、船首からの衝突 1107kNを踏まえまして、設計用衝突荷重を保守的に 1200kNと設定することとさせていただきます。
1:21:30	なお、漂流物、
1:21:33	津波防護施設のうち防波壁につきましては、漂流物の衝突荷重の影響を踏まえまして、
1:21:39	防波壁に作用する衝突荷重を分散させる目的で、鉄筋コンクリート造の漂流物対策工を設置することとさせていただきます。
1:21:49	1-5 についての説明は以上になります。
1:21:57	はい。中国電力の高松です。それでは続きまして 29 ページをお願いいたします。
1:22:03	こっちからこちらからは設計地下水の設定ということでご説明させていただきます。詳細設計段階への申し送り事項ということで、三つコメントをいただいております一つ目が、
1:22:16	設計地下水の設定における安全裕度の考え方を説明することといった趣旨のものです。
1:22:22	二つ目が、液状化起源淘汰液状化対象施設の選定の考え方、それと選定結果について説明することといった趣旨のコメントです。
1:22:34	三つ目が、地下水浸透流解析のですね 1、非定常解析、これの精度向上の取り組みをやりましたその検討結果と、
1:22:44	非定常解析の位置付けについてのコメントをいただいております。回答欄に記載の通りなんですけども、1 番目の安全裕度の考え方については①から③の三つの方法でもって安全裕度を確保するといったことをこの後、ご説明させていただきます。
1:23:03	2 番目の液状化検討対象施設ですねこれもフローを作成してご説明しております。最後に 3 番目は、
1:23:13	非定常解析の位置付け等についてご説明する資料を、この後をつけております。それでは簡単に内容をご説明させていただきます。30 ページをお願いします。
1:23:24	こっからは安全裕度の考え方の説明資料になるんですけども、30 ページ 31 ページはですねその前段としまして、地下水位低下設備をMaaS設置する経緯といったところをご説明した資料になります。
1:23:40	それと、(1)にも書いております設置変更許可審査を踏まえた、設工認段階における設計用圧力及び設計地下水の設定方針、こういったところを説明しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:54	説明、個別の内容は割愛させていただいて次のページ 31 ページをお願いします。
1:24:00	31 ページの安全裕度の前段にはなるんですけども建築の建物構築物と、屋外重要度構造物等の設計地下水であったり設計用圧力の設定に係るフローについてご説明しております。
1:24:16	左側が建物構築物の設定設計用圧力設定フローで右側は屋外重要土木構造物の設計地下水の設定フローになります。
1:24:26	はい。続きまして 32 ページをお願いします。
1:24:30	32 ページは、これもまた前段にはなるんですけども解析モデルですね、再現解析を実施しております、再現解析定常解析の結果と、
1:24:40	その解析モデルの妥当性についてご説明しております、図の 4 のグラフでございます通り、あと間に二つ目の矢羽根の後半部分になりますけども、
1:24:50	地下水の解析水位は観測水位と概ね一致するか上回っていることから、設計用圧力及び設計地下水の設定に用いる解析モデルの妥当性を確認したというふうな説明にしております。
1:25:03	32 ページをお願いします。
1:25:05	32 ページが、ここからが安全裕度の考え方の三つ、①から③のうちの①になりまして、一つ目の矢羽根のところに書かせていただいております通り、予測解析における降雨条件の設定については、
1:25:20	栄養圧力、地下水いずれも保守的に高く算出されるよう、松江地方気象台における過去 78 年間の年間降雨量の平均値。
1:25:29	平均値を算出しましてばらつきを考慮した値に、今後の気候変動予測による降雨量の変化を加味して年間 2400 ミリの降雨量を降雨条件として定常解析の条件として設定しているというのが、
1:25:45	安全裕度①の考え方です。続きまして 34 ページをお願いします。
1:25:51	34 ページが、安全裕度の考え方②の原子炉建物等の建物構築物への安全裕度の考え方を説明しているページになります。
1:26:02	表の 2 のですね、左から 4 列目の上段とですね、左側左から 3 列目の上段と左から 4 列目の、
1:26:13	とか、設計用圧力こちらを比べていただいたらいいのかなと思うんですけど、建設時のよう圧力を考慮しまして予測解析結果より保守的に高く設定するということをご説明しております。
1:26:25	続きまして 35 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:29	35 ページが、三つの安全裕度のうちの今度三つ目になります。今度は屋外重要土木構造物等への設計地下水位で見た安全裕度の考え方を ご説明している資料になります。
1:26:42	今度は、表の 3 の左から 3 列目と左から 4 列目こちらを比べながら、見 ていただきたいですが、地下水位低下設備の効果を期待しない条件で の、
1:26:54	予測解析結果でね、これ表の中でいうこの括弧自然水というものに当 たりますけど、これよりも解析モデル、解析モデル範囲のうち最も高い 水位を、に裕度を考慮して高く設定するというのでこの高く設定したも のが、
1:27:10	その 4 列目にあたる設計地下水になりまして、自然水よりも高い値を設 定しております。こういったところを、安全裕度の考え方③としてご説明 しております。
1:27:22	続きまして 36 ページに行っていました、
1:27:25	これ久我重要土木構造物の安全裕度の考え方をもう少し詳細にご説明 した内容を 36 ページに挿入しております。
1:27:34	二つ目の矢羽根の 2 行目ぐらいからになりますけど、あとは、この図の 7 とかを見ていただければ良いかと思うんですけど、設計地下水の設定 においては、構造物の耐震安全性評価を実施する解析モデル範囲内 の最高を地下水を抽出しまして、
1:27:51	それに裕度を 0.6 メートル程度を加えた地下水を全解析断面に対して 一律に設定することで観測水位より、設計地下水を保守的にして高く設 定するというので、
1:28:04	土木構造物をやっていく方針をご説明しております。
1:28:08	はい。安全裕度の考え方は以上になりまして続いて 37 ページをお願い します。
1:28:14	ここからが液状化検討対象施設の布施選定に関わる選定太を解析手 法の選定のフローをご説明しております。
1:28:26	フローにてご説明させていただきますけども、左側の列ですね、の一つ 目の方、ダイヤ、アートですね。
1:28:37	ひし形と二つ目の干潟ですね、こちらでNOになったものは、全応力解 析になります。で、この二つをイエスで通ったものが右列の方に行きまし て、
1:28:48	それぞれ三つ目四つ目のひし形の条件を踏まえまして、イエスに三つ 目であればイエスになったものが有効力解析になると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:59	四つ目のやつがYesになったものは有効応力解析になると。で、最後、それがNOになったものは全応力解析になりますといったところを説明しまして、
1:29:09	ただ、この三つ目のひし形と四つ目のひし形につきましては、それぞれ有効る解析全応力線解析になった場合でも、
1:29:19	その反対、一方の有効力解析であれば税務解析の側での税務解析になったやつは有効力解析側での
1:29:29	補足検討こういったところをやっていくっていうところもご説明させていただいております。38 ページをお願いします。
1:29:39	38 ページがそういったところの説明をより第 1 例を挙げてご説明していただいているものが 38 ページになります。
1:29:49	この表の左側ですね、フロー④のところのは、屋外配管ダクトタービン建物放水槽を 1 例にご説明しております、
1:30:00	フロー⑤のところは取水槽を 1 例にご説明しております、代表的な耐震評価断面として液状化対象層がどこに広がっていると、どこに分布しているそういったのを踏まえて解析手法を
1:30:15	選定し、しているっていうところをご説明しております。
1:30:19	続きまして 39 ページをお願いします。
1:30:24	39 ページ 40 ページが最後の非定常解析の精度向上の取り組みの結果とその位置付けについてご説明しております。39 ページが括弧書きで書かさせていただいてますけど、
1:30:37	一応、非定常解析の降雨に対する感度向上についての取り組みの結果ということで、二つ目の矢羽根のところに記載しておりますけども、設工認段階では非定常解析における工事の解析水位の感度が、
1:30:52	小さい要因を分析しまして、感度向上を目的とした検討を実施しましたということで再現解析③というのを追加で実施しております、
1:31:02	具体的には解析上、その下のマルの解析条件のところに記載させていただいてますけども、検証期間中の安全対策工事に伴う舗装の撤去掘削による地表面の状況を踏まえて、
1:31:15	降雨の地下への浸透を考慮したモデルを作って、追加、非定常解析を詳細施工人段階ではやらせていただきました。その取り組みの結果としまして 40 ページにまとめております。
1:31:28	40 ページをお願いします。
1:31:30	一つ目の矢羽根のところの、2 行目の後半ぐらいからになるんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:36	あと、左側の計時変化のグラフを見ながらちょっとご確認いただきたいんですけども、
1:31:43	降雨時の地下水位の変動は再現解析③では、再現解析②に比べて大きい値を示しており、これは赤破線のところの立ち上がりのところを、
1:31:54	見ていただきたいんですんで、大きい値を示しております、上の感度が向上していることを確認いたしました。
1:32:02	最後位置付けについての結論を述べておりますところが、三つ目の矢羽根のこの文章になりまして、島根原子力発電所における設計地下水の設定は、
1:32:12	降雨条件に保守性を持たせた予測解析過去定常解析の設計、解析推移に基づき設定しまして、非定常解析については参考として位置付けたいと考えております。以上です。
1:32:27	中国電力の藤村です。続きまして貿易薬機溶液の改良地盤の解析用物性値につきましてご説明いたします。
1:32:36	41 ページをお願いします。
1:32:38	今回の資料は、貿易薬水溶液に関する申し送り事項のうち、改良地盤の解析用物性値についての回答を記載した資料となっております。
1:32:48	資料は全部で7 ページで、まず、41 ページでは、詳細設計段階における検討内容の概要を示しております。
1:32:56	一つ目の矢羽根におきまして設置許可での説明内容と申し送り事項を記載しておりますが、
1:33:02	詳細設計段階への申し送り事項としましては、室内配合試験における3軸圧縮試験等を踏まえた解析用物性値を設定し、PS検層等に基づいて設定した改良地盤の物性値を管理目標値とし、
1:33:16	この管理目標値が確保されていることを確認することとしておりました。
1:33:21	二つ目の矢羽根に詳細設計段階における確認事項を示しておりますけれども、詳細設計段階におきましては、申し送り事項を踏まえまして、室内配合試験における3軸圧縮試験等を踏まえた解析用物性値を設定し、
1:33:36	設置許可段階における管理目標値が確保されていることを確認いたします。
1:33:41	42 ページをお願いします。
1:33:44	42 ページでは詳細設計の申し送り事項とその回答について、表にお示ししております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:50	また回答の概要としまして、改良地盤の管理目標値の確認フローを示しておりますので、ご説明させていただきます。まず初めに、設置許可段階における改良地盤の物性値を管理目標値に設定します。
1:34:05	次に、室内は配合試験における3軸圧縮試験等により、解析用物性値を設定するとともに、エース設置許可段階におけます管理目標値を確保していることを確認します。
1:34:19	最後に実施項におきまして、実績におきまして、解析用物性値と設置許可段階における管理目標値を確認するため、室内配合試験に基づいて、管理目標値を設定し、
1:34:31	現位置試験室内試験により、管理目標値が確保されていることを確認します。
1:34:37	次ページからはこちらのフローに沿って詳細の方を示しております。
1:34:42	43ページをお願いいたします。
1:34:46	43ページでは設置許可段階における管理目標値の設定についてを示しております。
1:34:51	設置許可段階で設定しました改良地盤の物性値を表にお示しし、このうち、戦乱強度 τ と動せん断弾性係数事業管理目標値に設定する旨を、二つ目の矢羽根のほうに記載しております。
1:35:05	44ページをお願いいたします。
1:35:09	44ページから46ページでは、室内背後試験に、
1:35:13	よりまず、管理目標値の確認結果を示しております。
1:35:18	まず、44ページでは管理目標値のうち、せん断強度の確認結果についてお示しをしております。
1:35:25	45ページをお願いします。
1:35:29	45ページでは、管理目標値のうち、動作動せん断弾性係数Gの確認結果についてお示しをしております。
1:35:37	46ページをお願いします。
1:35:40	46ページでは室内配合試験結果のまとめといたしまして、室内配合試験結果を踏まえて設定をいたしました解析用物性値の一覧表でお示しをしております。
1:35:52	47ページをお願いします。
1:35:55	最後に47ページにおきまして、実施施工における管理目標値の確認内容についてお示しをしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:03	表 2 次施工の品質確認における管理目標値と、品質確認方法についてお示しをしておりますが、こちらの管理目標値を実施工で確認をすることで、
1:36:13	設置許可段階における管理目標値と室内配合試験で設定をしました。可否席を物性値が確保されていることを確認する旨をお示しをしております。
1:36:24	ご説明は以上となります。
1:36:28	規制庁の服部です。それでは、ただいまの説明に対して確認する点がある方お願いします。どうぞ。
1:36:47	規制庁の三浦です。私の方からまず入力地震動、これについて、気がついたところをちょっとお話をさせていただきます。
1:36:58	まず 2 ページ。
1:37:01	なんですけど、
1:37:03	ここで
1:37:05	ちょっと指摘の事項も申し送り事項もちょっと何言ってるかよくわからないところもあるんですけど、
1:37:10	これに対して右側の回答を見ると、原子炉建屋を代表とすると全体、最初に書かれていてあと水平成層性、
1:37:22	あと等価物性値との違いがないっていうようなことからまた最後で、原子炉建屋を代表とすることは妥当であると判断したっていうような言葉になってるんですけど。
1:37:33	これ最初の部分は、むしろあれですよ。
1:37:39	建屋の規模や施設の重要性を踏まえて、代表建物を選定するっていうのが、
1:37:46	最初の言葉じゃないですか。最後に、以上のことから、原子炉建物を代表することが妥当であると判断しましたっていうふうな流れに進んでの方がいいと思うんですがいかがですか。
1:38:02	中国電力の落合ですご指摘の通り、我々もそういう意図で書いておりましたけどちょっと記載のがちょっとそういうふうになっておりませんので、先ほどちょっとコメントいただいたような形で、
1:38:14	最初については減少建物を、
1:38:17	選定しているというような記載にちょっと修正したいと思います。以上です。牧瀬常務。最初の部分はだからあれですよ。原子炉建物って言葉出てこないで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:27	建物の規模や施設の重要性を踏まえて代表建物を設定するっていうような言葉の方がいいと思うんですがいかがですか。
1:38:39	中国電力の落合です承知いたしました。その通りだと思いますので、最初は代表建物を選定すると、というような書き方に修正したいと思います。以上です。
1:38:49	お願いします。それと、3 ページのナンバー5。
1:38:54	V。
1:38:56	これ指摘に対して右側回答書かれてるんですが右側の回答の中身を見るとこれ同じことが2行繰り返されてる。
1:39:07	ですよ。
1:39:08	ですから、この二つのポチ、これを一つの言葉にして、答えは、回答以降にした方がいいと思うんですがいかがですか。
1:39:20	中国電力の落合です承知いたしましたちょっと左の方の、もう色事項が二つあったんでそれぞれ書いたんですけども一つ集約できると思っておりますので、一つに集約して、回答したいと思います。以上です。はい。
1:39:34	左の方で二つあるから二つにしたんだなと思ったんですがちょっと言葉のWあるんで、かえって読みにくくなってるので、よろしくお願いします。
1:39:42	それと、
1:39:45	11 ページ。
1:39:50	なんですけど、これ
1:39:54	EW方向の25分ですが30Hz高震度領域で、50Hz10日モデルこれがちょっと出てしまうよってということで検討するっていう流れで、これ1回ご説明受けてるところなんですけど、
1:40:07	これ右下のEW方向のオートスペクトル、ここで25Hzから30Hzの部分で、
1:40:15	50%50Hz透過モデルがこう出っ張ってますよねその部分がクローズアップされるようにその部分のエリアを、例えば赤丸で囲っていただく、何でもいいんですけど、
1:40:26	わかるように、左上の文章とですね、リンクさせていただくことができますか。同じように12ページの右下のスペクトル、これも同じように何かその出っ張ってる部分が、
1:40:39	クローズアップされるように、表記上のちょっと工夫をお願いしたいと思うんですがいかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:47	中国電力の落合です承知いたしました。11 ページと 12 ページいずれも同じ図を使っておりますので差異が見られるところをちょっとわかるように修正したいと思います。以上です。
1:40:59	はい。よろしくお願ひします。それと 13 ページ、ちょっと 14 ページなんですけど、これ、
1:41:11	条件比率出すやつですよ。右、13 ページの右下の、
1:41:17	上限比率でこれで一番左の部分が 1.45 ぐらいの数字になっていて、いえるハッタ 8 かな。
1:41:25	14 ページの表 1 で見てて簡易評価のところ、67 番が 1.45 っていう、非常に大きな数字が出てるっていうところなんですけど、
1:41:37	これはあれですか、13 ページの右下の条件比率 1.45 っていうのと、この六、七、表 1-67 番の 1.45 ってこれリンクしてるって考えていいんですか。
1:41:54	中国電力岩崎です。はいその通りで、14 の表 1-67 番の 1.45 は、この 13 ページの図 14 の、この条件を使っているものです。以上です。
1:42:08	はい。規制庁の植田です。それもですねわかるようにその 13 ページの右下の 1.45 での条件比率のグラフとですね、この部分に何かこう印をしていただいて、
1:42:20	表 1 の 67 番、これがここの数字を持ってきてるんだみたいな、少しこの紐付けをして、リンクするような形の表現記載はできないでしょうか。
1:42:36	はい、中国電力伊ワサキですはいちょっと記載、検討しましてこちらのリンクがわかるようにはい。ちょっと修正させていただきたいと思ひます。以上です。はい。よろしくお願ひします。13 ページでちょっと準備の関係がわかりにくいのでそのような、
1:42:50	記載を加えておいた方が全体としては、わかりやすくなると思ひます。よろしくお願ひします。
1:43:01	はい。入力度に関して、私からは以上です。
1:43:15	規制庁大木です。
1:43:17	能力自身 5 で 13 ページでちょっと今お話のあったところなんですけど、
1:43:26	左側のフロー図で
1:43:31	左側の 3、3 の条件比率の策定算定っていうところについてこれは
1:43:42	補足説明資料にあるいろいろフロー図、
1:43:47	比べて少し簡略化して、ここまでのフローって書いてあるんですけど、これは、それを省略して、
1:43:57	当間浅利とを変えたということでやってること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:02	自体は補足説明資料の方からと変わってないという理解でよろしいです。
1:44:11	はい、中国電力イワサキですはい。植木さんのご認識の通りで少し腑補足説明資料の側のフローを持ってくるとちょっとこちらが煩雑になるのでこっち、
1:44:22	パワーポイントの方は、少し簡単な記載とさせていただいております。以上です。
1:44:27	規制庁青木です。
1:44:31	ちょっとあれですかね、例えば3の条件比率のところ注記か何かして少し
1:44:39	説明加え、
1:44:41	文章で説明するとか、それ、
1:44:44	ぐらいはした方がちょっとわかるのかなと思ったので、ちょっと検討願いたいんですけど。
1:44:53	中国電力岩崎です。はい。ちょっとこの条件比率の算定等ちょっと中身がわかりにくいところについては、注記を飛ばすなどして、ちょっと記載の充実を図りたいと思います。以上です。
1:45:05	規制庁イケダ存在します。それと、先ほどの由良からお話して、
1:45:12	14ページで下の二つの条件比率1.45というのは、13ページの図の4。
1:45:23	ものなんですけどそれと、
1:45:26	それより上の弁っていうのは、当間1.08とか、そういう数字なんですけど、それは、
1:45:33	建屋、もののレベルが違って緑園比率が、
1:45:39	こういう数字になってるっていう理解でよろしいんでしょうか。
1:45:47	中国電力岩崎ですはいご理解の通りです。以上です。
1:45:51	規制庁大江です。わかりました。
1:45:53	それとあと最後なんですけど、
1:45:58	これの同じ14ページで
1:46:04	上の表の一位です、簡易評価の機能確認済み加速度等の比較。
1:46:12	で、勝訴今回焼損評価をやった。
1:46:17	ナンバー1と3、これが6Gに対して、かなり5.92とか、ぎりぎりになっていて、条件比率、
1:46:29	を下回っているということで、
1:46:33	下の表で詳細評価をやっているんですけど、その結果としてですね右側に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:41	あるように、発生値が 31 に対して許容値が 886 という、
1:46:48	ことで、オオノ間表カーでの比率に比べてかなり余裕があるという結果 になっていますで、まず、
1:46:58	この逆止弁についてこれっていうのはどういう評価をやっていたかって いうのをちょっと説明お願いします。
1:47:11	ここは詳細評価なんですけど。
1:47:17	中国電力のクラムスです。はい今回詳細評価を行いましたこの型式弁 の型式としましては逆止弁になりますので、詳細評価の内容としまして は通常電動弁等であれば駆動部の動作確認済み加速度との比較。
1:47:34	構造強度評価の両者を行うということになりますけども今回は逆止弁と いうことですので構造強度評価のみで詳細評価を行っております。
1:47:45	その上でこういった弁類の詳細評価における構造強度評価におきまし ては、電共研等を参照いたしまして、各弁の型式ごとに最弱となる、
1:47:58	評価部位等がはい確認されておりますので今回でいきますとその表 2 のところ評価部位で記載しておりますけども、操作部本体取付ボルト 部、
1:48:09	に対しての応力評価を行って、こういった発生応力が協力を十分満足 するということを確認しているというような内容になっております。以上で す。
1:48:21	規制庁大江です。はいわかりました。で、
1:48:23	えっとですね、この 58 等価耐震条件を用いた評価のところちょっと 注記してもらって、今説明された間の評価。
1:48:35	内容、試算ちょっと簡単に説明を加えていただきたいのと、
1:48:41	ちょっと上のその間表カー加速度評価。
1:48:46	に比べてかなり余裕がある結果になっているので、それに関して少し、
1:48:51	解説Ⅱっていうか、理由を簡単に書いてもらってますでしょうか。
1:49:02	はい。中国電力のクラムスです。承知いたしました。弁の詳細評価につ きまして、はいもう少し補足するように、はい記載をしてみたいと思いま す。はい。以上です。
1:49:14	規制庁植木です。よろしく申し上げます。私からは以上です。
1:49:25	規制庁の服部です私から 2 点ほど確認します。
1:49:29	3 ページをお願いします。
1:49:32	と 4 番の申し送り事項なんですけれども、
1:49:36	ここだけ説明することっていうことがついてないんですけど、これことをつ ける等、何か趣旨が変わっちゃうんですかどうですかねどうぞ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:50	中国電力の落合です。衛藤 4 番につきましては審査会合とかヒアリングでのご指摘事項ではなくて、当社の設置許可のまとめ資料での記載で、
1:50:02	こういうふうには詳細設計段階で、解析モデルについて説明すると記載していたので、ここの申し送り事項としては、説明するという、当社側の記載って意味合いで、
1:50:16	こう書いております。以上です。はい。規制庁のハツリですわかりましたじゃ厳密な意味での申し送り事項っていうことではない。
1:50:26	ということなんですけどねどうぞ。
1:50:30	中国電力の落合ですその通りだと思います紡織事項とかご指摘事項を踏まえた防食事項ではなくて当社がこれについては工認で説明すると。
1:50:41	申し送ったっていう、我々、当社側の、
1:50:44	もう色事項みたいな形だと考えてます。以上です。
1:50:48	規制庁の服部ですはい。わかりました。
1:50:52	8 ページをお願いします。
1:50:56	ここですな解析モデルが図 3 にあるんですけども、
1:51:01	この 1 次元波動論のモデルというのは、
1:51:04	建物脳中心位置での中心位置でモデル化してるんでしょうかどうぞ。
1:51:18	中国電力の落合です。その通りですタービン建物であれば、このたび建物 1 の中心で 1 次元モデルを作っております。以上です。
1:51:29	規制庁の服部です。そうすると、
1:51:32	二次元脳モデルがあるので、1 次元のモデルとしてその中心位置 2、ここが 1 次元の波動論のモデル化の 1 ですよぐらいの説明を加えてもらうってことはできますかどうぞ。
1:51:54	中国電力の落合です承知いたしました。ちょっと記載が、ウワー、検討してわかるように、何か記載したいと思います。以上です。規制庁の服部そうですね。1 次元のモデルを、
1:52:08	入れて比較しようかなとも思ったんですけどそっちの方がわかりやすいかなと思ってちょっと検討いただきたいと思います私からは以上です。他に入力地震動に関して他にあればお願いしますどうぞ。
1:52:21	よろしいですか。
1:52:23	では次、
1:52:39	すいません規制庁のタダウチなんですけれどもさっきちょっと植木のから聞いてた動的、
1:52:47	機能維持評価のところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:49	14 ページのところなんですけれども、
1:52:52	簡易評価結果のところ動的機能維持評価っていう過去が気が付いて機能確認済み加速度が6って大体普通これでやるんですけれども、もう、要はこれを確認してるっていうのは、どういった機能を確認してるってことなんですけど逆止弁としての機能が、
1:53:10	機能しますよっていう確認をしてるだけなんですかね。
1:53:20	はい。中国電力のクラムスです。
1:53:22	はい。ここでは弁の動的機能維持評価ということですので、はい。この逆止弁が逆止弁としての動的な機能を維持できるということを加速度比較によって確認しているということになります。
1:53:37	前提としましては配管に対しての逆止弁で通常弁の方が、配管部よりも肉厚になっているというようなところで、そういった構造強度表。
1:53:49	今日構造共同的などところについてはそういった取り扱いでただ弁、動作しないといけない弁についてはこういった加速度評価によって動的機能維持の確認をしているというところでございます。
1:54:02	以上です。すみません、規制庁のタダウチですけれどもそうするとね下の、
1:54:07	詳細評価っていうところで、
1:54:10	これ取付ボルト部のね、評価をしてっていう話だと。
1:54:14	上のね機能確認済み加速度がもしかすると達成できなくなるのわあ、下の、
1:54:23	取付ボルト部が持たないから機能しないのかということと関係があるのかないのかって単純に、構造上最弱部だけを求めてやってるっちゅう話になってないちょっとこら辺動的機能維持のところと、
1:54:39	最弱部の評価のところの関係先ほど、
1:54:42	ウエキの方もちゃんと説明してくれて話があったんですけどそこはちゃんと仕分けっていうか考え方の整理をちゃんとしてくれないと別のものを何か評価してることになりかねないのかちゅうところがすごく、
1:54:52	不安にはなってくるんでそこんところはしっかりと説明をしていただきたいと思います。
1:55:00	はい。中国電力のクラムスです。はい承知いたしました。辨野、この動的機能維持における詳細評価につきましては、配ベッド機電関係の耐震の審査の中でも、
1:55:13	そういった詳細評価の方法等、まとめた形でご説明をさせていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:19	今回のこの逆止弁につきましても、
1:55:24	今回はこういった 50 系列 10 日モデルによる影響条件比率の割り増しを考えた時にということで機能確認済み加速度の 6 時を超えるということで詳細評価を行っておりますけども、
1:55:36	別の弁については、6、基本的なその公認ケースの応答として 6G を超えるため詳細評価を行うというようなものもございますので、
1:55:46	そういったところで、詳細評価の内容についてはしっかりご説明をさせていただきたいと思います。今回の評価部位がちょっと操作部本体取付ボルトとなっておりますけども、
1:55:58	これらの評価部位につきましても、動的な機能を担保するという観点での、必要な評価部位の中で最弱のところを評価部位ということで選定しておりますので、
1:56:10	先ほどの植木さんからのいただきましたコメントともあわせて少しその辺りの詳細評価の内容もわかるように、資料として補って次回ご説明させていただきます。
1:56:22	以上です。
1:56:23	はい。すいません。規制庁のタダウチです。
1:56:26	千波ちょっと簡単に教えてくださいこのね、RHR 系の A のね、試験管の逆にいわゆるテスターダブルチェックなんだけれども、これって、テスターブルにするのは連動、
1:56:39	工藤かなんかでこじ開けるっていうそういう構造になってるんですが、
1:56:53	試験可能逆止弁だと開くことが可能だって話になってるはずなんだけれど違う、違いましたっけ。
1:57:12	いや何でこんなこと聞くかという先ほど静的機器だからって話を言ったんだけど、
1:57:17	僕そうじゃないんじゃないかなって気がしてるんですけどいかがでしょう。
1:57:36	はい中国電力のクラムスです。
1:57:38	すいませんちょっと私が短信の担当でちょっとあまりこの系統上、この試験管の逆止弁の果たす機能とかをちょっとすいませんこの場でご説明できないので、少しそれも確認させていただいた上でははい回答させていただきます。
1:57:54	以上です。はい。よろしくお願ひします。
1:58:02	規制庁植木です。ちょっと今の件です。再度ちょっと確認というか、
1:58:09	この逆止弁の詳細評価に関しては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:15	別ベッドで実施している動的機能評価のところ、
1:58:23	先行では何て言うんですか、流体力と地震力の比較。
1:58:30	もう地震、
1:58:33	地震中に開閉するっていうことを考慮して、
1:58:37	その評価もやっていたと。ただ、島根では、
1:58:43	それが要求される逆止弁っていうのはなくて、
1:58:47	地震5にですね機能が果たせばいいという説明で、
1:58:54	評価方法と評価を若干変え、先ほどの流体力の評価っていうのはもうやめてそれで、
1:59:03	ここにあるように本体の土地、
1:59:08	本取付ボルトですか、
1:59:12	その評価だけにすることで、若干やり方を変えている箇所だと思うんですねそれで、それもあって、かなり余裕が
1:59:24	慣れているんだと思うんですけど、今ちょっと話があったように
1:59:33	これに関してはちょっと次、次のページあたりにですね少しこの評価について、少し何か説明を加えた方が、
1:59:43	先ほどの評価の内容も、
1:59:46	含めてですねちょっとつけた方がいいのかなっていう気がしてきて、
1:59:52	単なる注記だけではちょっとわからないのかなというふうにちょっと思ったので、
1:59:58	少し
2:00:00	記載を検討お願いしたいんですけど。
2:00:04	いかがでしょうか。
2:00:08	はい。中国電力のクラムスです。はい承知いたしました。今の排便の詳細評価につきましては、
2:00:14	はい。おそらく今の14ページではもうすでにちょっと紙面のスペース上ちょっとかつかつなので、はい。少しページを改めるなどしてしっかりご説明させていただくように準備したいと思います。
2:00:27	あと、あと、C評価の中身についてははい植木さんの認識の通りでございまして、どう、例の動的老人に対して、機能要求を、地震中、
2:00:38	の機能維持が要求されるもの、地震後の機能維持が要求されるものと、というようなところを整理した上でその地震後の機能維持が要求される逆止弁については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:49	連続的に締め切る、水圧に対して開かないかというようなそういう評価については不要であるというふうに判断しておりますのでその辺りはまた
2:01:00	胚今後の貴殿の耐震の中のヒアリングでも、また次回以降のその弁の動的機能維持の説明のタイミングでまた議論させていただければと思います。以上です。
2:01:11	規制庁大池ですはい。よろしく申し上げます。
2:01:15	以上です。
2:01:29	規制庁の服部です。では漂流物関係で確認する点がある方お願いします。
2:01:40	規制庁の江崎です。漂流物の衝突荷重の設定ということでゆ言うそうですね、
2:01:46	まず 17 ページですか。
2:01:50	17 ページの審査会合における指摘事項に対する回答ということで、式をまず
2:01:57	一つ目の矢羽根のところですね、
2:01:59	1 行目、先行事例と、何のことなるのかってどこに新規性があるのかを整理し、という話がありますんで、
2:02:09	先ほどちょっとヒアリングでもちょっと、
2:02:12	申し上げたようにですね、
2:02:14	やはりその、
2:02:15	先行っていう多分女川になると思うんですねその部分で、特に主なところをクローズアップしてあの会合なんで、すべて、
2:02:23	詳細説明資料の方には、
2:02:26	詳しく書いてくれてはいるんですけど、そこをまずピックアップしていただいて、話を展開を作った方がいいかなと思うんですがいかがでしょうか。
2:02:36	はい。中国電力清水です。はい。女川との相違点、また新、当社の島根の新規制ということで衝突解析とFEMAの取り扱いとかその辺りだと思っておりますので、
2:02:48	記載の方をさしていただきたいと思います。
2:02:51	規制庁の江崎です。特にそれでクローズアップされるべき話としては、ちょっと書き、どこまで書くのかってのはまだあるんですが、23 ページの、
2:03:02	二つ目の山根山根の 2 行目のですね所、いわゆるあれですね、衝突実験との話ですねここが今回関係ないんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:12	そこが一番重要なところだと思っていて、っていうのは、
2:03:17	差異として行った時にここんこれで検証できてるっていう一つの大きな
2:03:23	ナガタの違い。
2:03:24	それと、24 ページに書いてある表 6 に書いてある赤いひずみを設けている。これはいろいろ検討されているので、
2:03:34	この 5%、3%をいろいろやっていて、それから見ると、FRP線として、基本的に安全副課長として、
2:03:45	安全側だと、FRP製の衝突荷重としては安全側になってるという話。
2:03:50	物性値全体としては、今日説明あった中では大きく、
2:03:55	マクドに話すると、こういった分水と整地はさっき言ったオダがござい衝突実験、
2:04:03	この対比の中で、ある程度、
2:04:07	継承されて、ある種、検証されていると設計課長として大きめに評価されるということで、継承されてるっていう整理だったと思うんですね。
2:04:14	その辺を割とわかりやすいように、組み立てて欲しいなと思っっているのと、いわゆる
2:04:22	5%。
2:04:24	の妥当性っていうのは、やっぱり説明しないと、きっとここを多分、
2:04:29	コメントが残ります。多分、
2:04:32	そうすると基本的な中の説明にしなきゃいけないすね細かい詳細、そうするとちょっと説明が
2:04:40	なかなか長い時間、さっきのヒアリングみたいに長い時間、
2:04:44	会合やらなきゃいけないので、それはちょっと、
2:04:47	資料として資料をパワーポイントっていう説明資料として起こした方がいいかと思いますがいかがですか。
2:04:53	中国電力清水です。はい。前半のトピック、
2:04:58	として、検証できているということまた破壊ひずみという設定、そういった相違点があるということの前段どこか、記載するのと、あと
2:05:09	5%の妥当性についても、この解析の設定のあたりにですね、追加させていただきたいと思います。
2:05:16	続いて規制庁の江崎ですが 26 ページで女川との対比で考えたときにですね、主期間分の衝突って、ちょっと考え方が違うわけですね。ここで言うと、
2:05:28	いろいろ検討した上で、期間分にぶつかりません。
2:05:34	どうやっていて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:36	念のために、
2:05:38	ある程度荷重を見込んでいるけども、この程度なんですよってという説明があります。やっぱりその辺も説明しないと、
2:05:45	すごく話は、
2:05:49	そら取りが起きてしまうかなと思うんですがいかがですか。
2:05:54	中国電力清水です。はい。こちらの基本的な補足説明資料本文の検討結果しか載せられておりませんので、先ほどの添付資料の内容を、
2:06:05	ちょっとこの辺り反映しようと思います。
2:06:08	はい。多分ですね小野沢土佐部分で考えたときには、大きないったところで言うとそういうところだと思うんですねそういったところを、
2:06:17	どのように、
2:06:19	良い品、この島根として妥当性、適用性を確認してきたかっていうことが重要になってくると思いますんで、
2:06:27	一つ、もう色事項ってさらって回答するのもあるけどもそ、そうすると、さらっと説明しただけで、
2:06:34	妥当性がわからないので、コメントが残ると思うんですがもうすでに、ヒアリングの中で何回かやっていて、
2:06:41	中身が大分把握ができている状況なので、
2:06:44	それはもうちゃんと重点的に入れた方が、
2:06:49	コメントは少ないんじゃないかなと思うんです。そういうことも踏まえてですね一つ整理、再整理お願いします。以上です。
2:06:57	中国電力清水です。承知いたしました。
2:07:03	規制庁千田です。私から1点だけちょっと17ページのところの、
2:07:12	昨年の12月7日の指摘事項。
2:07:16	これさっき午前中もちょっとお話したんですけど、この中で指摘事項の中で検討フローの話をして、
2:07:23	いますので、ちょっとそれ一、
2:07:26	検討フローがですね。
2:07:28	ちょっと示した方が話が理解できるのかなというふうに思いますのでちょっとその辺りは、
2:07:35	検討いただければと思います。
2:07:38	中国電力清水です。はい。検討フローを示した上で相違点等記載するようにいたします。
2:07:53	あ、規制庁のミウラです。今の17ページなんですけど、それで、
2:07:59	指摘事項で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:01	下から二つの工藤三角の部分ですが、塑性状態まで許容する漂流物対策工の設計法が先行実績がないため云々っていう、
2:08:11	ことあるんですが、これあれですか。
2:08:14	漂流物対策工には、コンクリートで50%は50センチ割り増しをしてやるっていうのとあと、鉄骨で、
2:08:23	漂流物対策工をやるっていうのもあるんですミズタウエダか何か、そういうことですか。
2:08:29	これはそちらの方のことってんですか。
2:08:33	中国電力清水です。
2:08:36	塑性状態までというところではまず、鉄筋コンクリート製で、
2:08:43	設置を考えております防波壁の前面の漂流物対策工の方を念頭に置いております。以上です。これあれですか50センチのコンクリートの部分を組成上とあまり許容するっていうふうに、
2:08:59	そういう漂流物対策工に位置付けてんですか。
2:09:03	はい。中国電力のヨシツグでございます。今おっしゃられた通り漂流物対策工としては、
2:09:09	止水性等が求められているものではなくあくまでも荷重の分散するという事で、
2:09:16	許容限界としては今、塑性状態までというものを今、設定しているという状況のものでございます。実際にそこまでの設計となるかというのはまた別の、
2:09:26	ことで、一応そういった要求機能を考えると塑性状態まででもいいということで今整理をしているところでございます。
2:09:34	この規制庁見直すわかりました。これ、ただね、今回指摘事項に対する回答で、
2:09:41	これ、脈絡がないんですよ。だから、今、ヨシツグさんご説明なられたようにコンクリートで、荷重分散として使ってる部分対策があるんだけどその具体的な設計法に関しては今後共同生活対象の中で説明していくとかね。
2:09:56	少し言葉を繋がないと、
2:09:58	この塑性状態からの言葉とかイトウというのがちょっとリンクしてないんで、
2:10:03	ちょっと工夫していただけますか。はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。おっしゃる通りちょっと回答のところをかなり省略した書き方になっておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:13	江藤指摘事項に対してどういうふうに考えていてそれをどこの場所で説明するのかというのを少し記載を追記させていただきます。以上です。よろしくお願ひします。それと 19 ページ、これも細かい話です。
2:10:25	表 1、使用料損速度、これ
2:10:29	全方向最大流速んとこ 2 メーターパソコンのがあるんだけど、これ表 1 の漂流速度の方にメーターパーセクポートがついてないと。
2:10:37	おかしいですよ。中国電力志水です。その通りでございますので追記をいたします。
2:10:45	はい。お願ひします。殺到。28 ページ。
2:10:52	これ、
2:10:53	後、まとめ資料とかつて我々見てるからわかるんですけど、28 ページの最初の部分の言葉なんだけ施設全体に作用する衝突荷重と、
2:11:04	または局所的な装束荷重が生じるためって、これ漠然とこの言葉だけ出てくるとですね、このパワーポイントの中じゃどうも理解しようがないので、
2:11:13	これ、何らかの形でまとめ資料の方には、交番があつて選果中で評価するとか、ローカルには展開評価されるような絵もありましたんで、
2:11:22	これ参考資料か何かでね、少しこれを説明するような内容を入れといていただいた方がいいと思います。
2:11:30	中国電力清水です。はい。理解しやすいようにということ、観点で参考資料等を添付させていただきたいと思ひます。はい。よろしくお願ひします。それとあと同じ 28 ページで、
2:11:43	これ、それぞれ
2:11:47	道路講師表彰の数値とか、例えば藤間の式 1815 とかつてポーンと出てくるんですよ。
2:11:54	特にねえ、このうちFEMAに関しては、1815 の根拠になったものを、参考資料か何かで入れといた方がいいと思ひます。なかなかこれで決まってきたるので、
2:12:05	やっぱりそれをタイする意味でも、この中 1815 度に求めたのかなという根拠を参考で入れていただくことはできないでしょうか。
2:12:14	中国電力シミズですはい。香港、
2:12:17	いいですか。
2:12:19	はい。補足説明資料の方に添付している内容を元にですね、記載掲載を検討いたします。はい。以上です。はい。よろしくお願ひします私から以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:37	規制庁の服部です私から2点ほど確認します。すいません17ページのところ
2:12:44	回答のところ漂流物対策の設計については、強度計算書で説明するってあるんですけど、
2:12:52	これちょっと事実確認をしたいんですけど。
2:12:55	防波壁とカー表裏物対策コウノ。
2:12:59	その設計の考え方、設計方針というのは、
2:13:03	これは耐津波設計方針のところ補足説明資料のところ2入るんですけど。
2:13:10	それともいきなりこの高強度評価のところに出てくるんですけどどうぞ。はい。中国電力のヨシツグでございます。
2:13:18	まだお出しできてないんですけど浸水防護施設の設計方針と言われるものが耐津波の、もう少し細かな防犯意識、
2:13:28	の、
2:13:29	で言えば、どういった断面を選んでますよとそういった考え方の資料がございます。そういった補足説明資料がございます。まずそこでご説明をさしていただいて、それぞれ、
2:13:40	衛藤強度計算書のところでご説明、結果については強度計算書でご説明するという流れになると思っております。
2:13:48	規制庁のハットリですわかりましたえっと、ここに書いてある共同計算書で説明するというのは、
2:13:54	次回の審査会后この共同計算書の説明のあたりで、漂流物対策工の設計の考え方、設計方針を説明するという趣旨で書ける。
2:14:05	ということで、実際ヒアリング等で説明するにあたっては、設計方針の、今言われた設計方針のところの説明するんであって、
2:14:15	強度計算書の方で接液いきなり説明するということではないということでは理解しとけばよろしいんでしょうかどうぞ。
2:14:25	はい。中国電力のヨシツグでございます。
2:14:29	センコーにはない、ちょっと、
2:14:32	ところの部分がございましてそこを追求するような形で本設の中で、考え方についてご説明をしたいと考えております。以上です。
2:14:52	はい、中国電力のヨシツグでございます。
2:14:54	48ページの1-5のところ、今回説明だけになってますがこれに次回説明、次回会合以降で説明という項目を追記させていただくこと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:05	先ほどご説明させていただきましたけれどもそこと1-9のばい菌、これはセットで今会合をかけようと思ってますのでその中で、会合としては説明しようと思っております。以上です。
2:15:16	規制庁の服部ですわかりました。どこら辺で説明どういうふうに説明するのかなということちょっと事実だけ確認させていただきました。あと1点。
2:15:30	27ページお願いします。
2:15:35	この局所的な衝突荷重の表なんですけれども、
2:15:40	小例を見たときに、この黒線と赤線って何なのって、多分疑問に思われる方もいて、これを見ただけではなかなか説明が難しいので、
2:15:52	例えば、この黒線と赤線のそれぞれのところ2、秒数とか、こういうのをし、示して、
2:16:01	これは同時刻、
2:16:03	同時刻の衝突荷重のグラフなんですよということを、
2:16:08	明確にした方が、例えば我々が町内で説明して聞かれた時もう説明しやすいかなと思うんですけど、いかがでしょうかどうぞ。
2:16:18	中国電力清水です。はい前回のヒアリングではおっしゃったような記載をさせていただいておりましたが、
2:16:25	結局このように突出したところがあればいいかなと思って、ちょっとその辺り記載を見送ってしまっていましたので、ちょっと修正をさせていただきたいと思います。
2:16:46	規制庁のハットリつすいません。前回、逆にある方がわかりにくいという発言もあったということで、ちょっと、
2:16:55	うん。そうですねはいちょっと失礼しました。逆に私あった方がいいのわかりやすいのかなと思ってしまったので、今の発言は撤回します。すいません結構ですよろしく申し上げます
2:17:07	説明にあたっては今の説明でわかりましたのでわかりますので、説明はできると思いますので、失礼しました。以上です。他にあればお願いします。
2:17:27	規制庁の谷口です。
2:17:28	先ほどもちょっと話がありましたけれども、
2:17:33	28ページ目のところの中、図の15のところなんですけれども、まとめをこのまま書かれているところなんですけど、先ほどもお話あった、添付資料4、添付資料残っているのがそのまま書いてあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:47	確かに何だかよくわからないので、これも添付資料 4 と 6 を、4 だけじゃなくて 6 の方も、参考資料として、概略のもので説明していただくようにしないと、
2:18:00	わからないと思いますので、まとめていただければと思います。
2:18:06	先ほどのFEMAの 1815kNの話が出ましたけど、同じように 417kNの話も同じだと思いますので、ちょっと、
2:18:16	見直していただければと思いますけどいかがでしょうか。
2:18:21	中国電力清水です。はい。先ほどお答えいたしましたように参考資料として、これらの内容を記載いたしますので、このパワーポイントの中で紐付けができるように、
2:18:31	名前、資料の名前の方は、適正にさしていただきたいと思います。以上ですはい。よろしくお願ひします。それからこのページの一番最後になお書きのところで対策工のことを書いてありますけどこれも含めて先ほど対策工については次のところでまた説明していただけるんじゃないかなと思うので、
2:18:50	永木はちょっと、
2:18:52	いらないんじゃないかと私は思いますけどいかがでしょうか。
2:18:56	中国電力清水です。はい。設置するという宣言だけでも書かせていただくかなと思って書いたんですがちょっとは、
2:19:07	はい。
2:19:08	わかりました。ちょっと記載値を見直しながら、はい。させていただきます。よろしくお願ひします。
2:19:14	以上です。
2:19:30	すいません規制庁のタダウチなんですけど、一つだけちょっと確認なんですけど、
2:19:36	漂流物衝突荷重の設定の中で、総トン数 19 トンの行政FRP製ってあるんですけど、
2:19:45	これなんかちょっとスケール感がわかるようなものがどっかに書いてあります。全長が 27 メーターとか横、いや、何でかっていうと、後の方で、その 5 劇の長さ 24 メートルとかもあるんですけどそもそも船との大きさの関係が、
2:20:00	何かどっか明確になってるところってあるのかなって探したんですけど、特になさそうなので、少なくとも、
2:20:06	船の長さとか前作っちゅうか、そこら辺て入れることはできるんですかそうしないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:12	なんでこういうところの評価やってるのがちょっとあんまりわかんないんじゃないかなと思うんですけどいかがでしょうか。中国電力清水です。はい。すいません大事な情報を割愛してしましまして申し訳ございません。24 ページからの、
2:20:26	設定のあたりで、船の長さですとかそういった情報を入れ込んでいただきたい、いきたいと思います。以上です。
2:20:44	規制庁の服部です他あればお願いします。
2:20:48	よろしいですか。では地下水位設定のところで確認する点がある方お願いしますどうぞ。
2:21:01	規制庁の江崎ですが設計地下水、全体的に言うとそんな文句はないんだけど、37 ページと 38 ページはこれって、
2:21:11	今議論した方がいいですかね。
2:21:14	という部分があって、
2:21:17	これだけだとちょっとそんなにいい。
2:21:21	実態的にね、何が私は課題と思っているか見えないかもしれないですが、
2:21:27	⑧の資料で 438 ページ以降ってというのが、僕が重要構造物の耐震重要性、耐震安全性評価についてということで、
2:21:37	基本的には 60 の耐震設計の、
2:21:41	方針言ってるんだよね。
2:21:42	うまくないのか、今まだ議論している。
2:21:45	その中の設計断面とかそのモデル化方針といったところがまだいまだ解決していないにもかかわらずこれ、
2:21:54	そこに、基本的には論点が議論として、話は入っていないんだけど、
2:21:59	ただ、
2:22:01	各断面を確認する上でこの資料がいるってことで書いてはいるんだろうけど、
2:22:06	今、
2:22:08	出すのは多分議論がまだ収束してない段階で、これを
2:22:15	そう。
2:22:16	介護に出すのは得策じゃないんじゃないかなと思ってるんですが、いかがですかね。
2:22:23	はい。中国人のヨシツグでございます。
2:22:26	衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:27	考え方自体は多分、あると思うんですけどもそれを各今構造物がどれかという選定結果前ちょっと議論していただいているところでの結果のところまで載せておりますので、
2:22:39	これについては、記載を少し見送りさせていただきまして次回以降の会合でちょっとご説明というのを考えたいと思います。以上です。ていうのはその設計断面とか、ある程度、まだ、
2:22:54	改良の余地があるという話があって、
2:22:57	まだ議論してる終着点が見えていないので、その時点でこういう断面ですって世の中に周知してしまうのはちょっと、
2:23:06	いろいろと課題が大きいかなと思っていて、
2:23:09	それでお互いもう少しですね中身をですね
2:23:14	確認した上で、出し出さないと、日も基本的に独り歩きてしまう可能性ありますので、それをよくお考えくださいと。ただ
2:23:26	37 ページの不
2:23:28	フローチャートに関しては、別に、今までもう、概ね、
2:23:33	アグリーできましたねっていうのは、規制側の
2:23:36	判断でありますからそれは構わないと思う。ただ、その時に、どういう形で、
2:23:42	後、考え方をね、例示的に示すのかっていうこと自体が、一つ課題になっていて、
2:23:50	リアルな断面図っていうのはあまり示すると、難しいのかなと。
2:23:55	思いますし、マスキング対象のものなんかいろいろ
2:24:00	近くにあるのでそういうのも、そういったことまで話はちょっと議論はしにくいなど、会合の場で、
2:24:07	そういったことから考えていくと、この辺ですね。
2:24:10	どういう形見せ方があるのかということも踏まえて
2:24:15	38 ページぐらいの話だったらいいんですけどねただこれも放水槽があってCクラスですよっていう話があって、これは何ですかっていう話ってのはもうすでにやっちはいるんだけど、
2:24:25	何か、
2:24:26	例示、例示としてあまりよろしくないなっていう話があって、
2:24:30	その辺も考えてですね多分。
2:24:33	④③例えば①②の例えば間ここで考えているような、ポンチ絵的なレイジーだとかそういった考え方で説明して多分、
2:24:45	このこの構造物に関しては、このこの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:50	耐震設計の段階でまた説明しますっていう話が一番いいんじゃないかなと、一昨年、落ち着き先として、もともと聞いているのは全応力有効流布考え方。
2:25:02	これをちゃんとオダ側と同様に示してくださいっていうのがコメントの趣旨ですから、
2:25:06	その辺の趣旨も踏まえてですね、どこまで載せるかということで出てきてい以上は私たちもそれは見過ごすことができないので、ある程度のことは言わざるをえないので、
2:25:19	それを考えていただいて基本的には、議論のをまだしてる最中のものはまだ、
2:25:26	固まってないものはそちらの方でもですね、もう少し慎重に扱った方がいいんじゃないかと思います。以上です。
2:25:36	はい。中国電力のヨシツグでございます。はい。お願いいたします。ちょっと、
2:25:42	これをこのまま、失礼いたしました。そのまますべて削除するのか、フローチャートの考え方、あと例示で、こういう構造物構造物といいますが、例示の構造物としてこんな考え方で、
2:25:57	有効力ですね応力ですというような
2:26:00	イメージ図みたいなもので説明するかちょっと考えさせていただいてまたご説明をしたいと思います。以上です。
2:26:15	規制庁の三浦です。地下水の部分で、
2:26:20	気になったことが少し2点あります。一つは、
2:26:29	えっと30ページ。
2:26:31	ですか。
2:26:33	30ページで、これ既設と、あと新設Ⅱの地下水位低下設備の話が出てくるんですが、これ、どこにもこの書類上、パワポの中にはないですよ季節がどんなもんで、
2:26:46	診察がどんなもんだって、
2:26:48	それやっぱりわかるように、これもうちょっと参考資料か何かで、入れていただいた方がいいと思うんですがいかがですか。
2:26:57	中国電力高松です。コメント趣旨承知しました挿入するようにします。以上です。はい。お願いします。あともう1点なんですけど、これ、
2:27:07	保守性安全裕度の考え方高目高めの話だけ出てるんですが、この間の、以前ご説明ナガエたやっぱり低いところにもこういうふうには設計的にはカバーするんだと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:18	というようなこともですね、入れといていただくと。
2:27:21	単に高いだけが保守的ではないと、だけど低いほうのことも考えて、このような、保守的な設計を行うんだっていうことを少し入れといていただいたらいいと思います。いかがですか。
2:27:34	はい。中国電力のヨシツグでございます。
2:27:38	まず、関地下水の設定について、今の考え方をご説明さしていただいて、
2:27:43	構造物の評価としてですね、今おっしゃられた通り低い場合の影響検討も、
2:27:49	するということをご説明しておりますのでそれがわかるような資料を、最後のまとめ等も含めて、少し記載の1は考えたいと思います。以上です。
2:27:59	はい。よろしく願いいたします。私から以上です。
2:28:05	規制庁の羽鳥です。私から何点か確認をさせていただきます。まず、29ページをお願いします。
2:28:12	この29ページのナンバー1の回答の、
2:28:16	②なんですけれども、
2:28:18	その原子炉建物等の、
2:28:20	建物構築については、予測解析結果より高く設定するってところが少し気になっていて、
2:28:27	これは少し誤解を招く可能性があるので、③に書いてあるよう2例えば地下水位低下設備の効果を期待する条件での、
2:28:40	予測解析結果よりとか、
2:28:43	そういうのをつけないと誤解を招くんじゃないかなと少し思ったんですがいかがでしょうかどうぞ。
2:28:53	はい。中国電力、高松です。建物構築物につきましては地下水位低下設備の効果を期待した解析条件下での設定、それに余裕を持たせた設計をしておりますので羽鳥さんがおっしゃったように、
2:29:07	効果に期待したというのは、入れることにします。以上です。規制庁の服部ですわかりました。
2:29:16	と、あれ、29ページ。
2:29:19	て書いてあるけど、
2:29:21	ごめんなさいね。
2:29:28	あれ、すいませんちょっと場所がわからなくなって、
2:29:31	たんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:34	ごめんなさい。
2:29:36	29 ページ。
2:29:43	あ、ごめんなさい。同じく 29 ページの、
2:29:47	3 番の、
2:29:49	最初のパラグラフの回答なんですけれども、
2:29:53	これ非定常解析では、
2:29:56	再編成があることを確認した。
2:29:59	という主語述語になってるように見えるんですけど。
2:30:02	この再現性があることを確認した後まで言い切れるのかなあ。
2:30:08	あくまでも参考扱いその傾向としては確かに同様の傾向があるっていうことはわかりましたと。
2:30:17	定常解析説明性向上の観点での評価はできるかと思うんですけど、
2:30:24	再現性があることを確認した。
2:30:28	というのはちょっと、
2:30:29	気になる表現なんですがいかがでしょうかどうぞ。
2:30:37	はい。中国電力、高松です。そうですね羽鳥さんのおっしゃった通り今回の資料の結論のところでもですね、許可段階に比べて再現性が向上したというか、
2:30:50	感度が向上したってところが確認できたとそれでもやっぱり定常解析の方が設計地下水を設定する上では、保守的でベターだっているのが、我々の結論ではございますので、
2:31:02	先ほどの服部さんのおっしゃっていただいた趣旨を踏まえてちょっとこの書きぶりは改めたいと思います。以上です。規制庁の服部です。はいなるべく誤解を招かないような活動、記載、
2:31:13	これ記載だけだと思うんですけど決ナカノ結論はわかりわかってますので、ここの記載のだけの話かなと思ってますのでよろしくお願いします。はい。中国電力高松です。承知しました。
2:31:25	規制庁の服部ですそれと 31 ページをお願いします。
2:31:32	これはもしかすると誤記なのかな、誤記じゃないのかなってところで確認します。
2:31:37	青くなってるところのモデル化方針の 2 ポツ目。
2:31:42	再現解析モデルの妥当性を確認する再現解析を実施し、
2:31:47	って書いてあるんですけど。
2:31:50	これもしかすると、
2:31:52	予測解析モデルの妥当性を確認するよために再現解析を実施し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:59	その妥当性を確認できた予測解析モデルで予測解析をやって、信頼性のある、
2:32:07	地下ず地下、自然水を設定しましたかなあと思いつつ、
2:32:14	この再現解析モデルの妥当性を確認する再現解析を実施するというこの最初の再現、
2:32:20	モデルの再現で、
2:32:22	これは
2:32:24	予測解析モデルの号機かどうかっていうのを確認したかったんですがいかがでしょうかどうぞ。
2:32:34	はい。中国電力高松です。ちょっとここは読んでも読みにくいようなところが、確かにありますのでちょっと事実関係確認してですね、
2:32:46	はい。
2:32:48	はい。ちょっと、
2:32:51	あ、すみません中国電力ヨシツグでございます。文章の方ちょっと見直しをさせていただきたいと思います。
2:32:58	事実関係といたしましては、再現解析の、雨が降っていた期間、
2:33:05	のモデルを、まず再現解析モデルと言っておりますんで、これを通して、まず、モデルが十分、この解析で再現できているということを確認しております。
2:33:17	予測解析モデルは、
2:33:19	再稼働後の状態を少し、再現解析モデルから、条件を変わっております。それをういまして、予測解析モデルを実施しているというのが
2:33:31	実情でございますのでちょっとわかりにくい文章になっておりますので、直させていただきたいと思います。以上です。規制庁の羽鳥ですはい多分そうだろうと思いつつ、
2:33:41	ただもう、本当の趣旨とその再現解析モデルで再現解析をして妥当性を確認するっていう本当の趣旨としては、予測解析モデルが妥当、
2:33:52	だということを確認するための解析なのかなと思っていたので、
2:33:56	だから、
2:33:58	だからよく妥当な予測解析モデルです、信頼性のある地下水位を設定したようなことがわかるようなこれ多分記載だけかなと思いつつ、
2:34:08	文章にしてもらった方が、正確な表現なのかなと思いますので、ちょっと記載だけ見直しいただければと思います中身については理解をしています。どうぞ。はい。中国電力のヨシツグでございます。ご理解の通りでございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:24	もう少し言いますと再現解析の中で、
2:34:27	使っております岩盤等の透水係数、こういったものがちゃんと再現できていると、それを使って予測解析を実施しているというのが実情でございますので、
2:34:39	解析条件等が、の透水係数ですとか境界条件こういったものが再現、予測解析で用いる。
2:34:49	境界条件ですとか、透水係数、こういったものが妥当であるということ、再現解析モデル悪再現解析で実施したというのが、
2:35:09	はい。今おっしゃられた通りで、妥当性確認した上で予測解析をやっているということがわかるような、ちょっと文章に見直しをさせていただきたいと思います。はい。以上です。
2:35:21	規制庁のハットリですはいわかりましたあと 33 ページお願いします。最後です。
2:35:27	二つ目の矢羽根のところ
2:35:30	建物等についてはっていうところの次の屋外重要土木構造物については、
2:35:37	ドレン括弧新設についても考慮しないって書いてあるんですけど、
2:35:42	これ持ってあるってことはその他のものがどっかにこう、
2:35:47	その意図さえ見えないと思ってつくのはおかしいのかな。これもっていうより、趣旨はよくわかるんですけど、ここの記載だけなんですけど、
2:35:57	それを載せない、その記載をしないのであれば、ここワーワーでいいんじゃないかなと思ってんですけどちょっと中国電力の考えをまず聞かせていただければなと思いますが、いかがですかどうぞ。
2:36:20	中国電力高松です。江藤右側の表 1 の下から 2 段目のモデル化高度 0 のところ、こちらが関係してくると思うんですけど、
2:36:31	屋外重要土木構造物が一番右列にありまして、既設も新設も考慮しないというふうに整理しておりますので、秦さんにおっしゃっていただいた摩耗のところは、
2:36:43	既設もというところが入っているというところなんです。その辺りちょっと、記載をちょっと改めたいと思います。以上です。
2:36:51	わかりました。じゃあ、例えば、新設も既設も考慮しないみたいなそういう記載になるってということですかね。わかりました
2:37:02	ちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:04	はい持って着くとちょっと気になっちゃったので、はい。確認をしました私から以上ですが、Hカセについて別途確認他に確認する、される方いればお願いしますどうぞ。
2:37:16	よろしいですか。
2:37:17	では最後、
2:37:23	逆T擁壁の地盤。
2:37:25	逆T擁壁の改良地盤の解析用物性値について確認する点があればお願いしますどうぞ。
2:37:44	江崎ですけども、47 ページのね、3 ポツの、
2:37:48	一番下の矢羽根。
2:37:51	今後の、
2:37:52	設工認審査で説明するって話、いわゆる品質確認の結果については、
2:37:58	説明するっていう書き方なってるんだけど、これはいわゆる、
2:38:03	新たにまだ、今後、
2:38:05	会合の中で説明すると言っているのかということだけ確認したいんだけど、
2:38:18	中国電力の鹿島です。すいませんちょっと、今回本設置許可段階での趣旨としましては品質確認試験で完了物性値目標物性値をですね、確保するというのが主題かと思っておりましたので、
2:38:33	今回の説明がですね審査会合の一つの柱かと思っております多田佳乃子氏、ヒアリング等でですね今後も知見の方は実施しておきますので現地の方ですね。
2:38:43	こちらの内容についてはしっかり説明さしていこう、いただきたいというふうに考えてございました。以上です。
2:38:50	規制庁の江崎です。
2:38:52	という会合の中で、何か説明は何かあると考えています。だから、例えばもう 48 ページがもう見えちゃってんだけどさ、1-9 の防波壁、この辺で説明することになるのか。
2:39:07	構想、いわゆるヒアリングで、ヒアリングの中で説明するのか。
2:39:12	会合の中で説明するとしているのか。
2:39:16	はい。中国電力のヨシツグでございます。まずはヒアリングの中でご説明をし、していきたいと考えておりますので、
2:39:23	江藤、その結果等で、例えば大きな違いがあるとか、そういったものが出てくればですねまた衛藤甲斐ゴトウで御説明というのも少し考えたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:34	ここに関しては必要に応じて
2:39:37	会合で行う可能性も、
2:39:40	ありますよってことですね。
2:39:45	中国電力のヨシツグでございますその場合に
2:39:48	防波壁等の構造物等の関連が出てくると思いますのでその中で、セット でご説明になると思っております。以上です。
2:40:01	規制庁の服部です他あればお願いします。
2:40:05	では私から 1 点だけ確認させてください。46 ページをお願いします。
2:40:10	この一番下の内部摩擦角なんですけれども、
2:40:14	これ有効数字 4 桁とってるんですけど、
2:40:16	他の物性値を見ると第 4 桁も取ってないものもあって、
2:40:21	なぜ 4、ここだけ 4 桁を取るのかなという確認等もし全部 4 桁にするん であれば、4 桁でもいいんですけど、
2:40:30	混在していると何となくこうわかりにくいのかなと思ってるんですがいか がですかどうぞ。
2:40:42	すいません中国電力のユリです。ちょっと事実確認させていただきまし てまたご説明したいと思っておりますけれども、基本おそらく FLIP の入力デー タとして、
2:40:52	2 分冊国へのファイのところは 4 桁になってるんだと考えております。以 上です。
2:41:00	規制庁の服部です。ごめんなさい。
2:41:05	FLIP の入力データは、例えば置いといて設計条件、
2:41:12	どうだろう。
2:41:18	ここで有効数字とか、
2:41:22	ちょっと、そうですね何となく何となく
2:41:26	通すちょっとちょっと違和感が残りますね。例えば、そうですね。
2:41:32	だって有効数字 4 桁だったら 38.00 って入れればいいだけの話で、
2:41:37	物性値だったら 38 って書いておけばいいだけなのかなと思ってるん ですけど。
2:41:43	ちょっとす。38 はいいんですけど 40.54 が余りにも細かい数字なので、 少し気になったんで、
2:41:50	ちょっとこの統一感がないのかなということで気になったんですがいか がですかどうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:57	はい。中国電力のユリです。事実確認させていただきましてちょっと考え方は整理したいと思います例えば 43 ページにお市民を示しているところで設置許可の物性値はですね、
2:42:09	内部摩擦角 ϕ でいうと 38 度っていうことで、2 桁にしてると思いますので、こういうところも含めまして、
2:42:17	ちょっと整理してご説明したいと思います。以上です。規制庁のハツトリですはいわかりました。
2:42:55	規制庁の服部さん。別に横数字が大きき多いからって、悪いわけでもないということもありつつ、
2:43:03	そこら辺はちょっと中国電力の方でもう一度検討していただければと思いますのでよろしくお願いします。はい、中国電力課長で承知いたしました。
2:43:12	規制庁のハツトリです他に。
2:43:15	あれば全体通しでも結構ですけども、あればお願いします。
2:43:19	よろしいですか。
2:43:21	はい。それでは一通りの事実確認が終了しましたので、振り返りの方を行いたいと思います。
2:43:29	中国電力本社の方から振り返りの準備をお願いしてもよろしいでしょうかどうぞ。
2:43:37	中国電力の内藤です。承知いたしました少々お待ちください。
2:44:06	規制庁の服部です。
2:44:07	はい画面が見えておりますので、一つずつ確認の方お願いしますどうぞ。
2:44:20	中国電力の藤村です。それではコメントの方内容を確認させていただきます。
2:44:26	まず一番ですけども、資料 7 の 2 ページに関するコメントになります。申し送り事項ナンバー 2 の回答欄の一つ目のポツについては、建物の規模や施設の重要性を踏まえて代表建物を選定するという記載に適正化することです。
2:44:42	これで結構ですけどこれ加工(2)です。
2:44:49	承知いたしました。
2:44:50	続きまして 2 番名のコメントになります。こちら資料 7 の 3 ページ目のコメントになりますが、申し送り事項 No. 5 の回答については集約して記載することです。いかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:03	はい。これで結構です 3 番 4 番も今見ました。これで結構なので、もう飛ばしてください。
2:45:10	承知いたしました。続きまして 5 番目のコメントですけれども、13 ページのコメントになります。フロー図における条件比率の算定に注記等で説明を追加することです。いかがでしょうか。
2:45:28	あ、植木です結構です。
2:45:31	はい、ありがとうございます。
2:45:33	続きまして 6 番目のコメントになります。
2:45:36	14 ページのコメントになりますが、詳細評価の内容、評価部位の考え方がわかるように説明を追加することです。いかがでしょうか。
2:45:54	ちょっとローン 6 番ですねちょっと頭に逆止弁のついているのをちょっと付け加えてもらえますか。
2:46:03	承知いたしました。
2:46:10	修正いたしました。こちらでいかがでしょうか。
2:46:18	修正いたしました。こちらでいかがでしょうかどうぞ。
2:46:21	はいいただいてそれ、これでいいんだけども弁のやっぱり構造とかね機構とかいうのも含めてそこら辺もあわせてこのか質問で回答していただければと思います以上です。
2:46:36	承知いたしました。
2:46:38	続きまして、7 番目のコメントになります。8 ページのコメントですけれども、
2:46:44	2 次元 FEM モデルのモデル図に 1 次元波動論のモデル化位置を記載するなどして、1 次元波動論のモデルがわかるように適正化することです。
2:46:54	いかがでしょうか。規制庁の服部ですそれで結構なんですけど最初の指定まではいらぬですねそれでたとえ 0 なので、
2:47:03	はい。
2:47:05	それで括弧でお願いします。はいお願いしますそれで結構です。
2:47:09	はい、承知いたしました。続きまして 8 番目のイベントですけれども、17 番はそのままでいいです。
2:47:16	8 番。
2:47:20	8 番です 8 番は、そのままでいいです。9 番は、破壊ひずみの設定等に、
2:47:27	根拠と入れてもらって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:31	設定根拠にしてもらって、及びその妥当性について説明を追加することを追記することでいいですこれはもう、
2:47:38	もともと、
2:47:40	詳細説明書に入ってる話なんで、それを付記してくださいということで、括弧書きでいいですんで、10番は、期間分の影響評価、
2:47:51	ということに関しても詳しく書いてくださいねっていう話だけなんで、それもここ記載で結構です。以上です。
2:47:59	承知いたしました。ありがとうございます。
2:48:02	続きまして11番目のコメントになりますが、施設評価全体の評価フローの説明を記載、追記することです。いかがでしょうか。どうぞ。はい。それで結構ですけど、その接続
2:48:14	前回会合のフローということで、はい。それをどこかに入れてください。お願いします。
2:48:26	すいませんどこかに入れてくださいっていう資料なので、この
2:48:30	表はこのままで大丈夫です。
2:48:33	承知いたしました。ありがとうございます。続きまして12番目のコメントですけれども、漂流物対策工事について今後の説明方針を追記することです。いかがでしょうか。ミウラです漂流物対策工で、対象とする構造物を、構造を明確にしてって入れといてもらいます。
2:48:52	漂流物対策工について対象とする構造を明確にして、今後の説明方針を追記すること。これも括弧で結構です。
2:49:05	承知いたしました。こちらで、
2:49:08	いかがでしょうか。はい、久米瀬古です。
2:49:11	はい。
2:49:11	続きまして図師13番目のコメントになりますが、設計用衝突荷重の設定について、詳細を含めて、記載を追記することです。いかがでしょうか。
2:49:22	これ何でしたっけ。
2:49:37	施設でこれあれですよねそうそう
2:49:41	施設全体の荷重と、あとローカルっていうのはわからないので、参考資料等に、
2:49:46	補足資料で書いてある内容を入れてくださいみたいな話ですよ。
2:49:51	そういう理解でいいですよ。
2:49:56	次行きましょう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:08	あ、失礼いたしました。14 番目のコメントになります。FEMAによる衝突荷重の算定根拠を参考として追記することです。いかがでしょうか。これで結構なんですけど、後でタニグチが
2:50:21	同 6 事業所の方の式もあわせてってたらそれをカップリングしてもらって一つにしといてもらえますか。
2:50:30	藤間だけじゃなくてね。
2:50:52	修正いたしましたこちらでいただきますでしょうか。はい。結構です。はい。ありがとうございます。続きまして 15 番目のコメントですけれども、恐竜速度の単位を追記するところ、これは結構です。はい。直しといてください。
2:51:08	16 番目のコメントになりますが添付資料との紐づけと、漂流物対策工の記載を検討することです。いかがでしょうか。漂流物対策工についてはもう今まで 12 番のどこなんかでも書いてるので、漂流物対策工のつていうところは消してください。
2:51:35	それで修正いたしました。それで結構です。はい。
2:51:39	ありがとうございます。続きまして 17 番目のコメントになりますが、総トン数 19t船舶の船体先方を追記することです。いかがでしょうか。すいませんタダウチですけども船体寸法だけで数船の緒元を比というのも入れてもらえる。
2:51:57	だと思うんですよ。そういった意味ではもしかすると、重量なのか、
2:52:04	水素層ですよねそこら辺はわかるような、どんな船代物なんだろうってのがわかるぐらいのものは入れてもらった方がいいかと思いますはい。
2:52:17	こちらでいかがでしょうか。
2:52:20	規制庁の服部ですそれで結構です。次お願いしますどうぞ。はい、ありがとうございます。18 番目のコメントになります。経常化対象施設の選定結果のコメント回答について検討することです。いかがでしょうか。エザキでそれで結構です。
2:52:36	ありがとうございます。19 番目のコメントになりますが、地下水位低下設備の既設と新設の位置等を追記することです。いかがでしょうか。ちょっと 1920 ミウラですけども両方とも結構ですこのままで結構です。
2:52:49	21 日。
2:52:55	打ち出しましてありがとうございます。続きまして 22 番目のコメントになりますが、非定常解析のコメント回答欄の記載、再現性を検討することです。いかがでしょうか。
2:53:07	規制庁の服部です。はい。はい。それで結構。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:13	非定常解析のコメント欄の記載。
2:53:17	再吸収ってということで再現する。
2:53:21	解析。
2:53:22	米非定常解析のコメント回答欄における、
2:53:28	再現性に関する記載を適正化すること。
2:53:38	に関する記載。
2:53:44	適正化すること。
2:53:53	はい。それで結構です。ありがとうございます。
2:53:58	失礼いたしました。21番目のコメントの確認を飛ばしてしまいましたので、確認をさせていただきます。建物構造物のコメント回答欄に地下水位低下設備に期待する旨を追記することです。いかがでしょうか。規制庁の服部ですはいそれで結構です。
2:54:14	23をお願いします。
2:54:16	はい、ありがとうございます。23番目は、モデル化の方針括弧最元解析についての記載を明確化することです。いかがでしょうか。どうぞ。
2:54:28	規制庁の服部です。ですね。
2:54:33	佐伯瀬山ごめんなさい。モデル化の方針について、
2:54:41	予測解析モデルの妥当性を、
2:54:46	検証することがわかるように記載を適正化すること。
2:54:52	予測解析モデルの妥当性を、
2:54:56	確認して地下水位を設定することがしますかちょっと名が
2:55:14	わかるように、
2:55:21	記載を、
2:55:23	が、はい。
2:55:26	適正化すること。
2:55:32	で、
2:55:35	ついでに後に提案を入れてもらいます。
2:55:43	修正いたしました。あ、はいそれで結構です次お願いします。
2:55:48	ありがとうございます。
2:55:50	続きまして24番目のコメントになりますが、修正機能に寄与するドレンのモデル化について、考慮の部分を明確に記載することです。いかがでしょうか。どうぞ。
2:56:00	はいもっていうだけの話なんですけど。
2:56:06	どうしようかな、
2:56:11	モデル化についての後新設の規制。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:14	新設と既設。
2:56:18	のどれを、
2:56:21	考慮しないことが、
2:56:23	明確になるように、記載を適正化することかな。
2:56:33	そうですね。これしないことはいい。
2:56:38	わかるよ。
2:56:41	側がわかるようにでも明確になるようにどっちでも結構です。
2:56:46	最後記載を適正化することで括ってもらえます。
2:56:55	修正いたします。ですねでしょうか。あ、ごめんなさい、えっとですね頭にですね屋外重要土木建造物の、
2:57:14	修正いたしました。
2:57:16	はい。
2:57:19	はい趣旨はわかりますのでこれで結構ですはい次お願いします。
2:57:26	はい、ありがとうございます。25番目のコメントになりますが、改良地盤の解析用物性値の有効桁数について確認することです。いかがでしょうか。町長のハツトリですそれで結構です。
2:57:38	はい。ありがとうございます。コメントの確認につきましては以上となります。どうぞ。規制庁のハツトリですはいわかりましたでは振り返りについて、何か規制庁側から、
2:57:48	確認する点があればお願いします。よろしいですか。
2:57:51	はい。中国電力側から何か確認する点があればお願いします。はい。中国電力柏です。こちらの方特にございません。
2:57:59	規制庁の服部ですはい。では一通り確認が終わりましたので、後半戦。
2:58:07	土建の説明審査会合の説明資料については、
2:58:12	議論は審査会合でやるんで今回のヒアリングについてはすべて記載の適正化になりましたので、適正に記載を適正化していただいて、
2:58:24	資料の作成の方をお願いしたいと思います。それでは左、
2:58:29	本日のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。